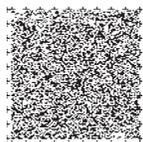
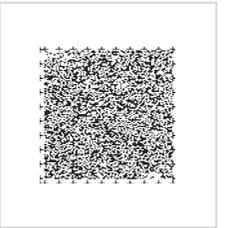


## 第2編 各論（計画の具体的な展開）

### 第2章 計画の着実な推進と進行管理



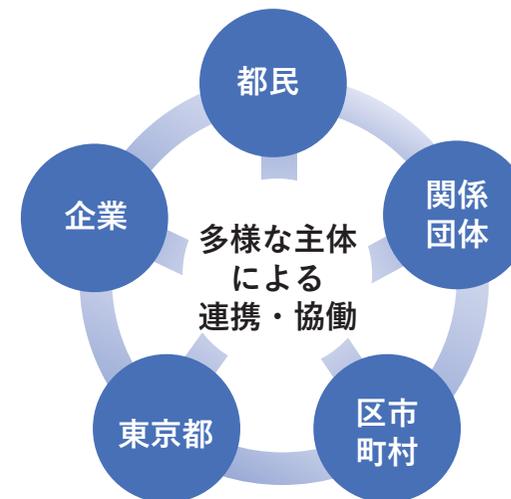


# 1 計画の推進体制と効果的な広報

## (1) 計画の推進体制

### 多様な主体と連携した事業の推進

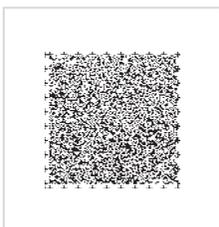
- 本計画に掲げる取組は、東京都の各局が連携して取組を進めるとともに、**区市町村、関係団体、企業、都民等、様々な主体との連携・協働**によって推進します。
- 特に、**東京都の政策連携団体等**である（公財）東京都スポーツ文化事業団、（一財）東京マラソン財団、（株）東京スタジアム、（公財）東京都スポーツ協会、（公社）東京都障害者スポーツ協会、（公財）東京2025世界陸上財団や、（一社）東京都レクリエーション協会、（一社）東京都スポーツ推進委員協議会等の関係団体については、**東京都との連携強化のほか、各団体間の連携も推進し、それぞれの力を最大限に発揮するための体制を構築**します。



## (2) 効果的な広報

### 計画の都民への周知や戦略的な広報展開

- 本計画の推進に当たっては、区市町村や関係団体だけではなく、**より多くの企業や都民に情報を的確に届けていくことが重要です。**
- **ターゲットや施策に合わせ、ウェブサイトやSNSなど、様々な媒体を活用して効果的に発信するとともに、広報効果の検証や改善を行うことで、事業効果を高めていきます。**

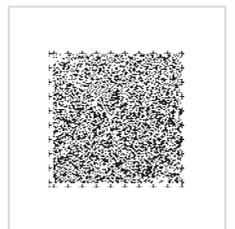
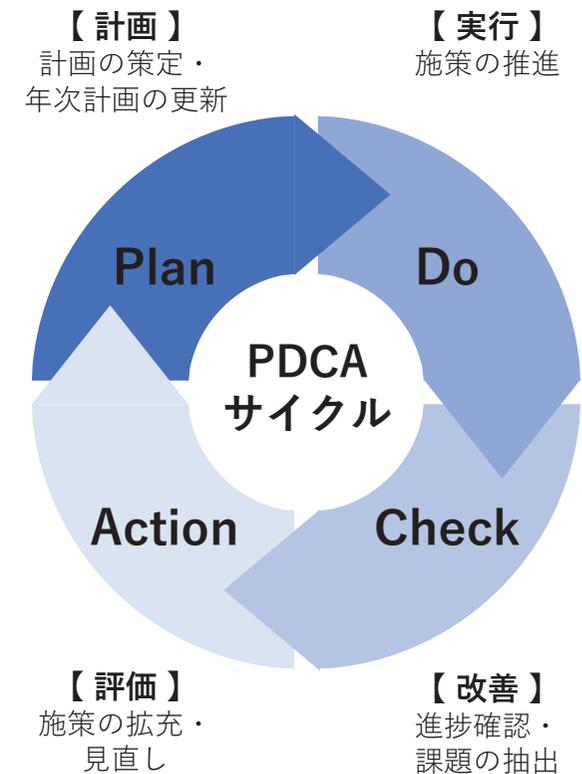


## 2 計画の進行管理・評価・見直し

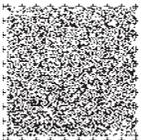
### PDCAサイクルの徹底

#### 年次計画による進行管理を実施

- 本計画の推進に当たっては、**計画・立案（Plan）**、**実行（Do）**、**評価（Check）**、**改善（Action）**の**サイクルを徹底**し、進行管理を適切に行っていきます。
- 具体的には、**3か年の年次計画**を作成し工程を示すことで、事業効果の評価や適切な見直しを行います。
- また、都民のスポーツ活動に関する意識や実態に係る調査等を通じて、**本計画の達成指標の現状を的確に把握**します。
- こうした調査結果などを広く都民に発信するとともに、**東京都スポーツ振興審議会に報告**し、意見を踏まえた**施策の拡充や見直し等を行う**ことで、各施策の効果の最大化を図っていきます。

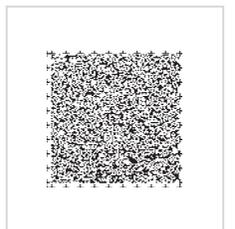


## 附属資料



# パラスポーツの振興

---



# 1 パラスポーツの振興の意義

## はじめに

本計画では「誰もがスポーツを楽しむ東京を実現し、一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を変革する」を基本理念としています。そのため、スポーツ振興全般について、障害の有無にかかわらず誰もが参加できる事業実施や、バリアフリー化やユニバーサルデザインなど障害のある人に配慮した視点を持って展開し、パラスポーツを含めたスポーツ施策を一体的に推進していくこととしています。

一方で、障害のある人のスポーツ活動には多くの特有の課題があります。これを解決するためには、東京都を含む行政機関や関係団体、民間企業が連携し取組を進めるとともに、都民の皆様をはじめ幅広い層にパラスポーツへの理解を深めていただくことが重要です。

ここでは、本編におけるスポーツを取り巻く状況や意義などについて、パラスポーツに特化して記載するとともに、施策を体系的に把握できるよう、主な取組を抜粋して分かりやすく再掲します。

## パラスポーツを取り巻く状況

パラスポーツは、障害に応じて競技規則を変更したり用具等を用いて障害を補い、現存する機能を最大限発揮できるような工夫が加えられながら、当初は医学的なりハビリテーションも目的の一つとして発展してきました。

近年ではこれに加え、障害の有無にかかわらず誰でも楽しめるユニバーサルスポーツとして広く親しまれ、さらにはパラリンピックの発展に伴い競技スポーツとしても脚光を浴びるようになりました。

さらに、平成26（2014）年の障害者権利条約の批准や令和6（2024）年の改正障害者差別解消法の施行なども背景に、DE&I（多様性、公平性、包摂性）推進の重要性が広く社会に認識されつつある現在にあっては、パラスポーツは、誰もが活躍できる社会の必要性への気付きになることから、官民間わらず、共生社会実現に向けた大きな推進力としても注目されています。

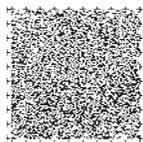
## パラスポーツ振興の意義

こうした状況も踏まえ、パラスポーツ振興の意義は次の3つの視点から整理することができます。

まず障害のある人にとっては、障害のない人と同様、身体を動かす楽しみや爽快感の享受、他者との交流などのほか、特有の意義として身体機能の維持・向上、社会参加の機会の増大などが挙げられます。

障害のない人にとっても、子供や高齢者、運動が苦手な人を含め、誰もが楽しめるスポーツとして、様々な人のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献できる可能性を持っています。また、共に楽しむことで、障害や障害のある人への理解を自然な形で深めることができます。

社会全体にとっても、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりにより施設のユニバーサルデザイン化が進むほか、多様な人が集まり交流することで、新しい価値観の創出や社会の多様性の確保にも大きく寄与すると考えられます。



## 2 東京都におけるパラスポーツの振興

### (1) 東京都におけるパラスポーツ振興の取組

#### 平成22(2010)年7月以前

##### 福祉行政として推進

・障害者の社会参加や自立支援の促進に向けた施策の一つとしてパラスポーツを推進

#### 平成22(2010)年7月

##### 福祉行政からスポーツ行政へ

・全国に先駆けてパラスポーツを障害者福祉行政からスポーツ行政に移管し、スポーツ施策として総合的・体系的に推進

#### 平成24(2012)年3月

##### 東京都障害者スポーツ振興計画の策定

・障害者スポーツの一層の振興を図っていくため、全国で初めて、中長期的な視点からの体系的・継続的な振興計画を策定

#### 平成25(2013)年9月

##### スポーツ祭東京2013の開催

・国民体育大会と全国障害者スポーツ大会を全国で初めて一つのスポーツの祭典として開催。障害の有無にかかわらず誰もがスポーツを楽しめる社会を目指していくことを全国に発信

##### 東京2020大会開催決定

・オリンピック・パラリンピック開催を通じて様々な施策を一体的に推進することで、誰もがスポーツを楽しめる「スポーツフィールド・東京」を目指す

・パラスポーツについては、パラリンピックの気運醸成を通じた普及啓発、選手の競技力向上、障害のある人のスポーツ環境整備などの取組を加速度的に推進

#### 平成30(2018)年3月

##### 東京都スポーツ推進総合計画の策定

・スポーツ振興全般において、障害のある人に配慮した視点を持った施策を展開していくため、「東京都スポーツ推進計画」と「東京都障害者スポーツ振興計画」を統合し策定

#### 令和3(2021)年8月

##### 東京2020パラリンピック開催

・スポーツ施設のバリアフリー化などのハード面のほか、パラスポーツのファン拡大やボランティアの裾野拡大、障害の有無を問わず誰もがスポーツを楽しみ交流する場の充実など、ソフト面でも多くのレガシーを創出

#### 令和4(2022)年9月～

##### 東京2025デフリンピック開催決定

・「ビジョン2025」(2023年2月)において「全ての人々が輝くインクルーシブな街・東京」の実現を目指す  
 ・「開催基本計画」(2023年11月)において、デフリンピックやデフスポーツの魅力や価値を発信、デジタル技術を活用した新しいコミュニケーションツール等の開発と社会への普及を促進し、互いの違いを認め、尊重しあい、誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会づくりに貢献していくことを記載

#### 令和7(2025)年11月

##### 東京2025デフリンピック開催

### 国際スポーツ大会のレガシーの継承・発展

東京2020パラリンピックのレガシーを継承・発展し、東京2025デフリンピックを機に東京に新たなレガシーを創出していくためには、パラスポーツを社会に根付かせていく取組が大きな原動力となります。そのため、パラスポーツの「理解促進・普及啓発」、「場の充実」、「人材育成・活用」、「競技力向上」を複合的に進めることが重要です。

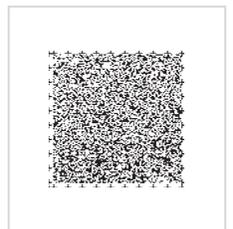
東京都がパラスポーツの振興を通じて共生社会への歩みを加速させていくことは、多様性が求められる時代に適合したものであり、そのノウハウや成果を他の自治体にも共有しながら、取組を進めていきます。

理解促進・普及啓発

場の充実

人材育成・活用

競技力向上



## 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

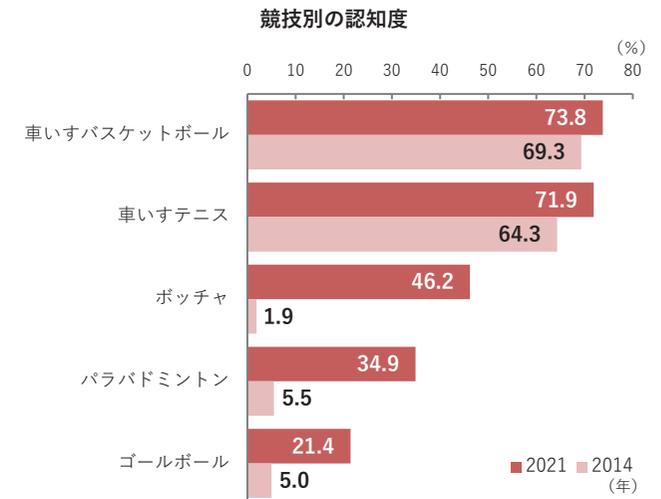
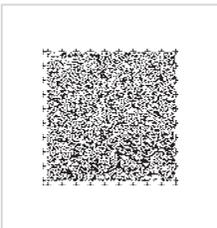
### (1) パラスポーツの「理解促進・普及啓発」

#### 東京2020パラリンピックがもたらした効果

パラスポーツのファン拡大に向けては、まず競技や選手を知ってもらうなど認知を高めた上で、関心を喚起し都民の参画を促す、といった行動変容を意識した取組を展開することが重要です。パラスポーツの競技別の認知度は、東京2020パラリンピック前後で大きく向上しました。また、都内自治体においては、大会後も障害のある人となない人が共に参加できるパラスポーツのイベントや体験会などが継続して行われています。このように、東京2020パラリンピックを機に、パラスポーツの認知度が高まったとともに、大会のレガシーとして誰もが一緒に楽しむことのできるパラスポーツの取組が大会後も広がっています。

#### パラスポーツの裾野拡大に向けた課題

一方、東京都が実施した調査によれば、都民のパラスポーツへの関心度は、大会前から大会後にかけて40～50%台で推移しており、目標の80%には届いていません。関心がない理由としては、「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」(32.1%)、「身近な場所でやっていないから」(19.2%)が上位に挙げられました。また、「競技会場で観戦したことがある」は5.2%、「パラスポーツ競技を体験したことがある」は9.3%と低い水準にあります。こうしたことから、関心を高めるためには、パラスポーツを身近に感じられるように取り組んでいくことが重要だと考えられます。



図表出典：『日本財団パラスポーツサポートセンターパラリンピック研究会 紀要第19号』  
「障害者スポーツに関する言葉の認知度に関する研究—2014年～2021年度の推移に注目して—」(2023年3月、藤田紀昭)を基に作成



図表出典：「令和6年度 都民のスポーツ活動に関する実態調査」(2025年3月、生活文化スポーツ局)を基に作成

## パラスポーツをもっと身近に

スポーツへの参画方法には「する」「みる」「支える」があり、「応援する」こともスポーツへの入り口となる参画方法といえます。東京都では、平成28（2016）年11月からパラスポーツ応援プロジェクト「TEAM BEYOND」を立ち上げ、ファンを増やす取組を展開してきました。今後も、商業施設など人々の身近な場所でパラスポーツ体験会を展開するとともに、様々なアプローチ方法でパラスポーツの魅力に迫るワークショップを開催して、認知向上と関心喚起を図っていきます。

また、パラスポーツを気軽に楽しく観戦できるよう、東京2025デフリンピックを含め、国内のパラスポーツ大会の観戦会や大会中継を実況解説付きで実施します。

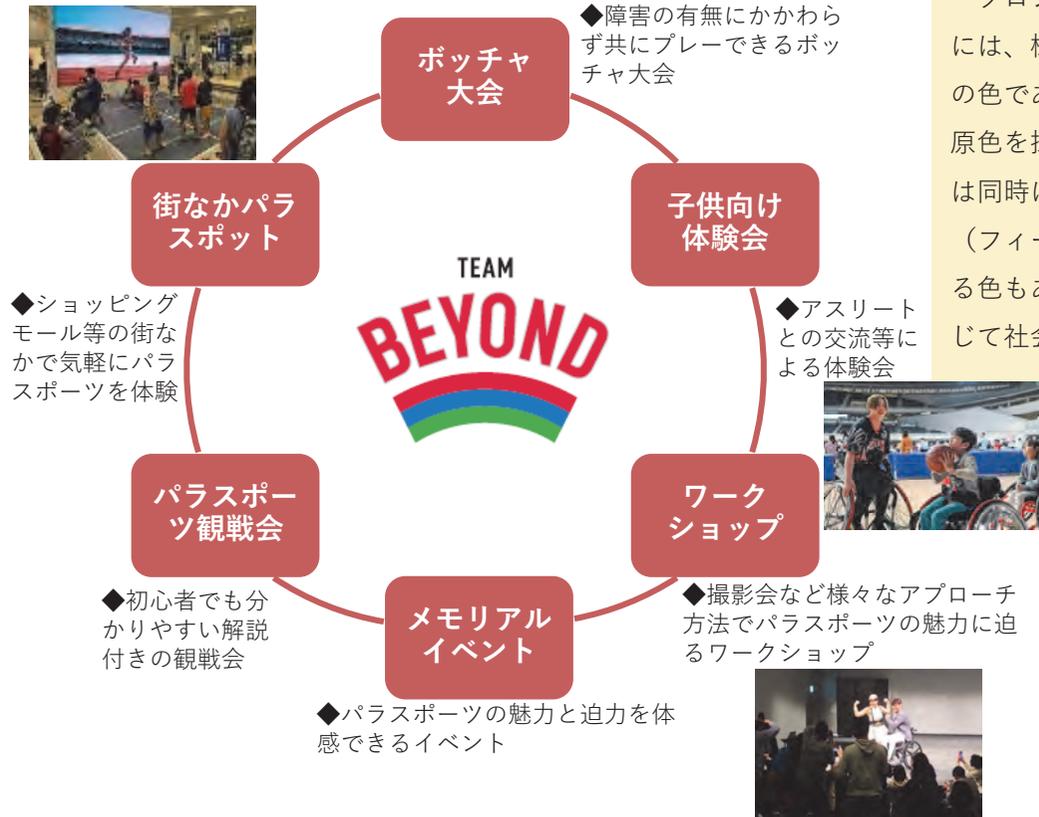
さらに、パラリンピックやデフリンピックの記憶を継承し、関心を維持・向上させていくため、メモリアルイベントも定期的に開催していきます。

## 東京2025デフリンピック開催を契機とした更なる理解促進

デフリンピックの開催が決定してから、東京都では、節目イベントの開催や区市町村等と連携した大会情報の発信などの取組により、大会に向けた気運を醸成してきました。今後、関連イベントでのスポーツ体験やアスリートとの交流、大会時の子供たちへの観戦機会の提供などの取組を行います。

東京2020大会で盛り上がった気運を継承し、東京2025デフリンピック開催を契機にデフスポーツを含むパラスポーツへの関心を更に高めていくため、東京都は今後もこうした普及の取組を積極的に展開していきます。

### 〈ファン・サポーターを増やす取組〉

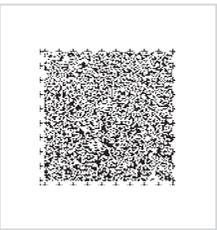


### ▼ コラム COLUMN

## TEAM BEYOND

TEAM BEYONDには、パラスポーツを通じて、障害の有無をはじめとするあらゆる違いや壁を乗り越え、一人ひとりの個性が輝く多様性豊かな社会に向かっていこう、という思いが込められています。

プロジェクトのテーマカラーには、様々な色を生み出す根源の色である赤、青、緑の光の三原色を採用しました。この3色は同時に、スポーツの競技会場（フィールド）をイメージさせる色もあり、パラスポーツを通じて社会に新しいフィールドを作っていく、という思いも込められています。



### 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

#### (1) パラスポーツの「理解促進・普及啓発」

##### 企業・団体の取組を後押し

令和6（2024）年の「都民のスポーツ活動に関する実態調査」において、都民のパラスポーツの関心度を世代別にみると、20代～50代の働き盛り世代が全体（42.7%）を下回っています。この世代の関心を高めるためには、勤務先の企業等の取組も重要です。

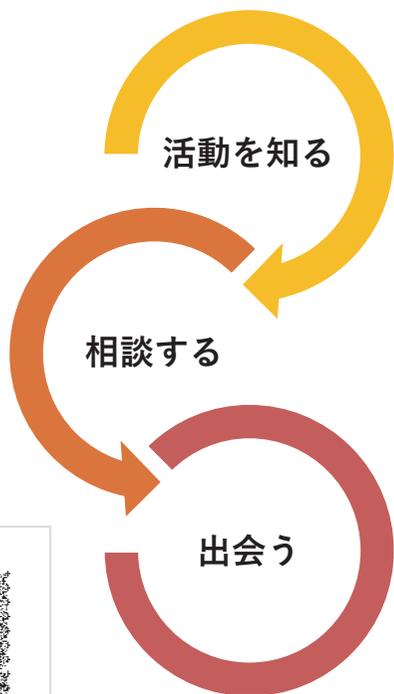
また、近年、障害者の法定雇用率の引き上げや合理的配慮の義務化、人的資本経営の推進などが企

業等に求められており、社会課題の解決という観点からも、パラスポーツへの注目が一層高まっています。

「TEAM BEYOND」ではパラスポーツ振興に賛同する企業等のメンバー登録数が1,000団体以上となりました。また、東京都の事業協力団体である（公社）東京都障害者スポーツ協会が実施するパラスポーツコンシェルジュでは、コロナ禍で相談件数は落ち込んだものの、令和2

（2020）年度から企業等の相談は年々増えています。

このように、企業等が従業員のパラスポーツへの関心や意欲を高める取組を推進するとともに、パラスポーツの担い手として継続的に活動できるよう、企業等の活動を後押しし、相互に連携して取組を進めていきます。



##### ◆TEAM BEYONDカンファレンス

パラアスリート雇用や企業ボランティアなど、先進的な取組を行っている企業等の取組を紹介

##### ◆パラスポーツコンシェルジュ

体験会の企画方法等に関する企業等からの相談に対して具体的な助言を提供

##### ◆企業等と競技団体の交流会

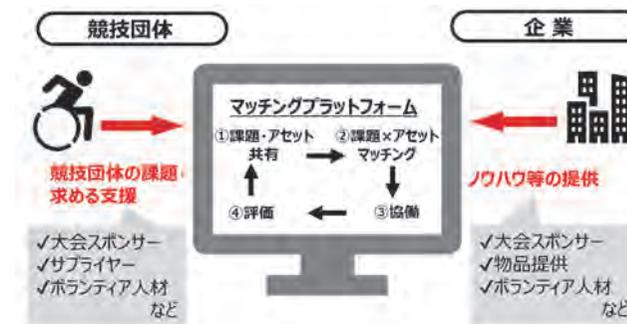
これまで延べ150以上の企業や競技団体が参加し、製品提供など様々なマッチング事例が誕生

##### ◆マッチングプラットフォーム

企業のノウハウ等と競技団体のニーズをマッチング



交流会



マッチングプラットフォーム

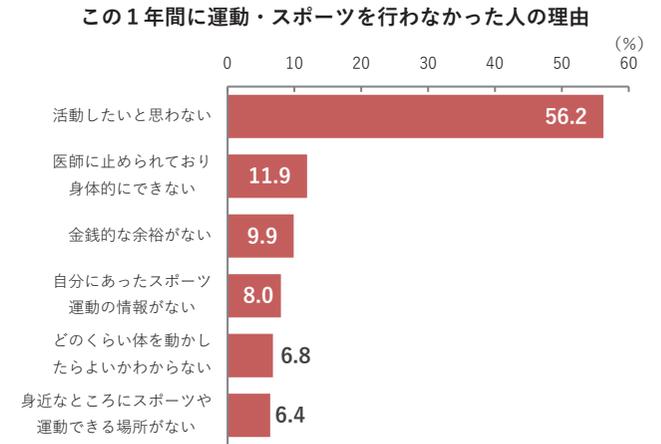
## (2) パラスポーツの「場の充実」

### 障害のある人のスポーツ実施の現状

障害のある人のスポーツ実施率は、東京都が調査を開始した平成30（2018）年度の32.4%から、令和6（2024）年度は46.6%となるなど、着実に伸びてきています。

一方で、過去1年間にスポーツや運動を実施していない人の割合は36.3%となっており、理由として「活動したいと思わない」が半数以上となるなど、スポーツに無関心である人が多いという傾向もみられます。

その他「身近なところにスポーツや運動ができる場所がない」や「自分に合ったスポーツや運動の情報がない」といった理由なども挙げられており、スポーツに関心を持ってもらえるような工夫のほか、障害のある人が気軽にスポーツに親しめる場の充実や情報発信に向けた取組が重要です。



図表出典：「令和6年度 障害者のスポーツに関する意識調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成

### パラスポーツの多様な場の提供

パラスポーツの場の充実に向けて、障害者スポーツセンターや公共スポーツ施設などの拠点・中核となる施設に加え、公民館、福祉施設、特別支援学校等の地域の身近な施設を最大限に活用し、多様な場を提供していくことが重要であり、東京都をはじめ自治体を中心となって進めています。

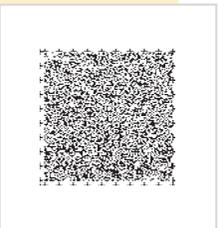
なお、東京都では、東京2020大会を契機にパラスポーツ競技団体の活動が大きく進展する中、計画的・安定的に利用できる練習拠点へのニーズが高まったことから、令和5（2023）年3月、都内初の競技力向上の拠点として東京都パラスポーツトレーニングセンターを開所しました。当センターは障害のある人もない人もパラスポーツに親しむことのできる普及振興の場としての役割も担っています。

▼  
COLUMN

#### 場の充実に向けた多分野間の連携促進

障害のある人が、幼児期・就学時・就労時・通院時などの各ライフステージで継続して運動やスポーツを楽しむためには、スポーツだけでなく、教育や医療、福祉、企業等の様々な分野からの理解やサポートが必要です。

都内の一部の自治体では、これらの関係者が連携し、施設や人材などの地域資源を活用しながら、障害当事者のニーズに即したスポーツ活動の場を提供する取組が始まっています。こうした取組が身近な地域を担う各自治体で広がっていくよう、東京都はアドバイザーの派遣等により多分野間の連携を促進していきます。



## 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

### (2) パラスポーツの「場の充実」

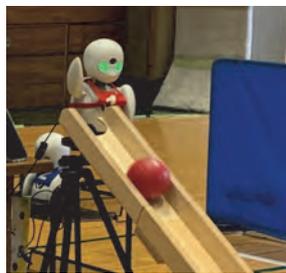
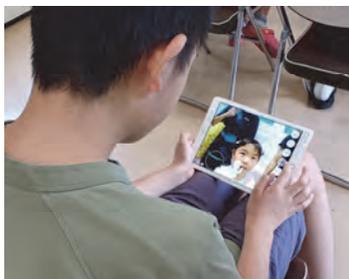
#### デジタル技術を活用したパラスポーツの実施促進

本計画では、最新のデジタル技術等とスポーツが融合し、あらゆる人がスポーツを楽しめる環境の実現やスポーツの力を高める「スポーツDXプロジェクト」が重点政策に位置付けられています。これは、パラスポーツの分野でも同様であり、パラスポーツの「場の充実」に向けた新たな取組として、デジタル技術を活用して多様な機会を確保していくこととしています。

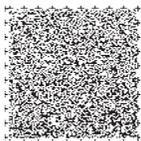
具体的には、障害の程度や環境等の様々な要因により思うように運動ができない方や外出の難しい方が、福祉施設等の日常の居場所で、障害の種類・程度に応じて運動・スポーツを楽しめるよう、分身ロボットを活用したスポーツ活動やeスポーツなどの取組を引き続き実施していきます。また、障害の有無や年齢、場所等にかかわらず気軽に楽しみやすいというeスポーツの特徴を活かし、地域イベントなどでもこうした取組を実施す

ることで、スポーツへの関心喚起や障害のある人とない人の交流の促進を図っていきます。さらに、大規模展示会への出展等により、企業等に対し機器やコンテンツに関する障害当事者のニーズ等をアピールし、開発の促進につなげていきます。

#### 分身ロボットの活用



- 分身ロボットを活用して、福祉施設から遠隔でスポーツ活動等に参加（ポッチャ、障害物競走など）



#### eスポーツの取組



- 障害のある人が操作しやすいよう開発・加工されたコントローラー等により、福祉施設からオンラインで「eパラスポーツ」対戦・交流（徒競走、玉入れなど）
- 通い慣れた施設や職場で、身体の動きと連動するコントローラー等を使った「バーチャルスポーツ」で気軽に体を動かす（テニス、バスケットボールなど）

## スポーツ施設のバリアフリー推進

障害のある人のスポーツ活動の場が限られる要因の一つとして、ハード面のバリアフリーに係る課題に加え、障害に配慮できるスタッフの不足、車いすだと床に傷がつくため利用を断られるケースの発生など、ソフト面での課題も挙げられます。

東京都は、区市町村のスポーツ施設改修に際し、ユニバーサルデザイン化に係る支援を行います。

また、障害のある人の利用促進に向け、大規模な工事を必要としないソフト面からの工夫などを紹介したマニュアルの活用やアドバイザーの派遣など、誰もが利用しやすい環境整備に向けた働きかけを行っています。

## パラスポーツの情報発信

障害のある人が運動やスポーツを実施したいと思った時に、身近な地域等で活動できるようにするためには、場に関する様々な情報が必要です。

東京都は、パラスポーツ専門ポータルサイト「TOKYOパラスポーツ・ナビ」により、都内公共スポーツ施設のバリアフリー情報のほか、パラスポーツイベント、地域のスポーツクラブ・団体などパラスポーツに関する幅広い情報を継続して発信します。

### 障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル



ソフト面のバリアフリーの工夫を掲載した好事例集。施設に必要な設備や備品のほか、パラスポーツ指導員などのスタッフの配置を推奨

### アドバイザー派遣による支援



施設職員を対象にした研修

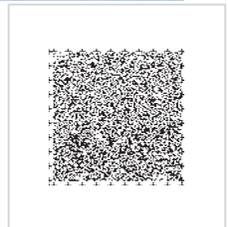


障害当事者による施設検診

### 「TOKYOパラスポーツ・ナビ」



「施設検索」では、バリアフリー情報を全58項目から検索可能



### 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

#### (2) パラスポーツの「場の充実」

- 障害のある人が、各々の活動目的に応じていつでもスポーツや運動ができるよう、様々な場所を活用し幅広い機会を提供

#### 拠点となる施設

##### 【パラスポーツトレーニングセンター】

- ・ 競技団体やクラブ等が継続的に練習できる競技力向上の拠点
- ・ 障害の有無にかかわらず楽しめる教室やイベントを実施



東京都パラスポーツ  
トレーニングセンター（調布市）



東京都多摩障害者  
スポーツセンター（国立市）



東京都障害者総合  
スポーツセンター（北区）

##### 【障害者スポーツセンター】

- ・ 初心者から大会出場を目指す人まで幅広いレベルの人が利用可能
- ・ 障害のある人が一人で来ても気軽に楽しめるよう、専門スタッフがサポート
- ・ 障害特性に応じて楽しく参加できるスポーツ体験やイベントを実施



#### 地域の身近な施設



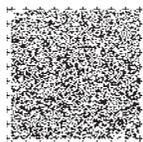
#### 都内全域をパラスポーツの場に

#### 中核となる施設



##### 【公民館、福祉施設、特別支援学校等】

- ・ 都立特別支援学校における体育施設貸出し、パラスポーツ等体験教室の実施
- ・ 福祉施設に指導者を派遣し運動プログラムを実施
- ・ 福祉施設等におけるeスポーツの実施
- ・ 区市町村が実施するパラスポーツ体験会等を支援



##### 【公共スポーツ施設】

- ・ 公共スポーツ施設等のバリアフリー環境整備の推進
- ・ 福祉施設を対象に指導者を派遣し、スポーツ施設での運動機会を提供
- ・ 区市町村が実施するパラスポーツ体験会等を支援

### (3) パラスポーツの「人材育成・活用」

#### パラスポーツを支える専門人材

障害のある人のスポーツ活動には、障害特性に応じた配慮やサポートができる人材が不可欠であり、多くの人の支えが必要となります。

その中心となるのは、障害の種類・程度、利用の目的などに応じて、一人ひとりに向き合い支援・指導ができるパラスポーツ指導員などの専門人材です。

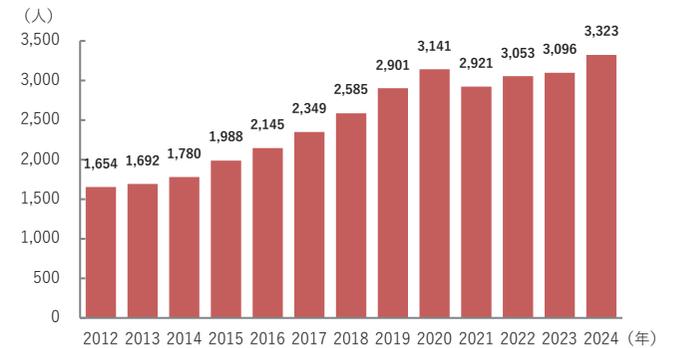
そのため東京都は、パラスポーツ指導員養成講習会の実施により、地域で障害のある人のスポーツ活動を支えるパラスポーツ指導員の数を増やしていくとともに、資格を有していても活動に一步踏み出せない人などを対象に、活動に伴う不安を解消するための研修を実施します。

#### 様々な分野における人材の確保・育成

東京都の調査では、スポーツを始めたきっかけとして、家族や友人のほか、医療関係者なども多く挙げられていることから、スポーツ実施率の向上には、身近な人からの働きかけが重要であると考えられます。そのため、家族や友人、医師に加え、看護師やリハビリを担当する理学療法士・作業療法士、通所する福祉施設のスタッフ、学校の先生など、障害のある人の生活を取り巻く様々な人たちの関わりが重要です。

そのため東京都では、スポーツ分野のほか、医療・福祉・教育関係者等を対象に、各々の専門知識を生かして障害特性に応じた指導やサポートが行えるようセミナー等を継続して開催します。

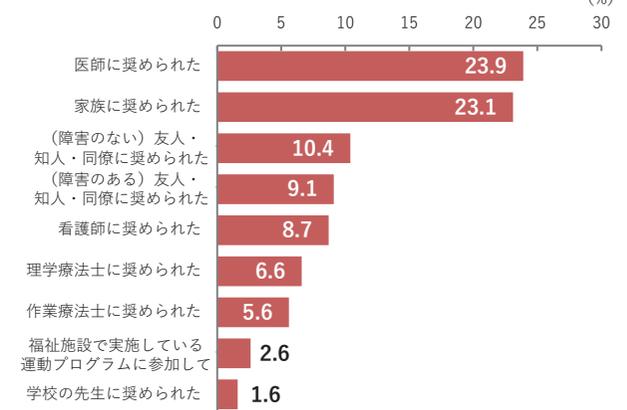
日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員登録者数（都内）



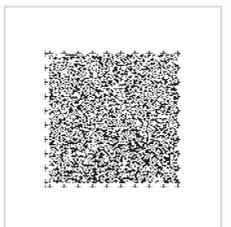
参照：(公財)日本パラスポーツ協会 ウェブサイト  
[https://www.parasports.or.jp/leader/leader\\_qualified\\_reference.html](https://www.parasports.or.jp/leader/leader_qualified_reference.html) (2025/3/28)

都内パラスポーツ指導員は令和5（2023）年度末で約3,300名と東京2020大会の招致前と比較して約2倍に増加

障害のある人がスポーツや運動を始めたきっかけ



図表出典：「令和6年度 障害者のスポーツに関する意識調査」（2025年3月、生活文化スポーツ局）を基に作成



## 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

### (3) パラスポーツの「人材育成・活用」

#### ボランティアの活動機会の充実

東京2020パラリンピックでは、多くのボランティアが参加し、大会開催の大きな力となりました。こうしたボランティアの人たちに大会における貴重なレガシーとして継続して活躍いただくとともに、多くの支える人材を新たに確保していくため、パラスポーツイベントや大会等の主催者とボランティア希望者をマッチングする障害者スポーツボランティア情報のポータルサイト「TOKYO 障スポ&サポート」を継続して運営します。

このサイトは、自治体や競技団体等が実施するイベントや教室、大会などのボランティア募集情報を配信するとともに、登録した人が、希望する地域や業務等に応じて活動情報を入手できる仕組みとなっており、ボランティアの活動機会の充実に大きく寄与しています。

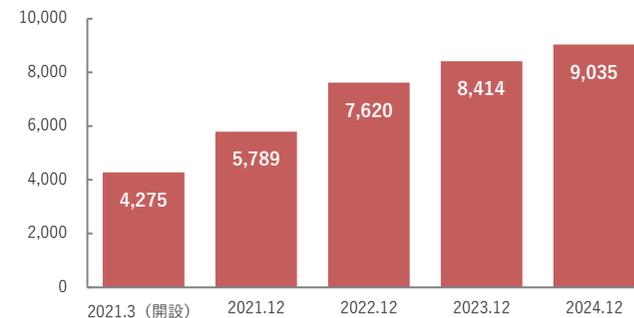
令和7（2025）年に東京で開催されるデフリンピックも、パラスポーツを支える活動への関心を再び高める大きな契機となることが期待されます。

「TOKYO 障スポ&サポート」サイト



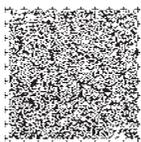
活動を後押しするため、障害者スポーツ事業に係るボランティア活動や講習等の情報を配信

「TOKYO 障スポ&サポート」登録者数

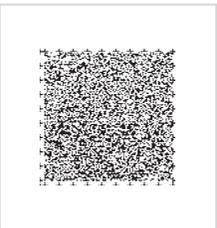


「TOKYO 障スポ&サポート」事業登録者数を基に作成

登録者数は令和6（2024）年末で9,000名以上と令和3（2021）年の開設時と比較して2倍以上に増加



- 都内の各地域において、パラスポーツを支える様々な人材を育成・活用
- 東京2020大会や東京2025デフリンピックを契機に、パラスポーツのボランティアの裾野を拡大



## 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

### (4) パラスポーツの「競技力向上」

#### パラアスリートの活躍

東京2020パラリンピックを契機として、パラスポーツは国民の大きな関心を集めました。パラアスリートには一人ひとり異なる障害があり、各々が自分の障害に対する工夫や努力を経て技術を磨き競技に打ち込む姿は、誰もが個性や能力を發揮し活躍できることを示してくれました。

こうしたパラアスリートの活躍は、障害当事者に夢や希望をもたらすとともに、人間の無限の可能性を再認識する機会となり、障害のある人に対する意識の変容にもつながります。

そのため東京都では、東京から国際大会等で活躍するスター選手を継続的に輩出するため、パラアスリート及びアスリートを支える競技団体への支援を行っていきます。



#### パラアスリートの発掘・競技人口の裾野拡大

まずは、次世代を担うパラアスリートの発掘に向けて、アスリート候補者が様々な競技スポーツに出会うことができるよう、競技団体と連携して、選手発掘イベントを定期的で開催していきます。このイベントでは、競技転向を含めて自分に合った競技やその活動場所を競技団体に相談できる場を設け、競技人口の裾野拡大につながるようなサポートも行います。

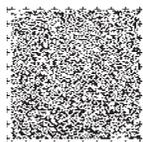


また、参加者を対象にトレーニング講習会や体力測定会などを開催し、その後の活動の継続・定着につなげる取組も実施していきます。

#### パラアスリートの育成・強化

パラアスリートの強化や育成に向けては、競技団体から推薦された東京にゆかりのあるパラアスリートやジュニアアスリートを東京都の認定選手とし、強化合宿費や大会参加費等の支援を行っていきます。

さらに、パラスポーツは選手を支えるガイドランナーや手話通訳などのスタッフが不可欠であることから、経費支援を行うなど活動しやすい環境を確保していきます。



## ▶ パラスポーツ競技団体への支援

パラアスリートの発掘・育成・強化に向けては、競技力向上への主たる役割を担う競技団体の活動が重要です。しかし、パラスポーツ競技団体の多くは、体制・財政ともに厳しい状況にあり、その活動が十分実施できていない競技もあります。このため東京都では、アスリートを支えるパラスポーツ競技団体に対しても様々な支援を行っています。



## ▶ 競技団体の活動支援

競技団体が実施する競技大会や選手の強化合宿の開催など、競技団体の自主的な取組を支援していきます。

また、競技団体の組織基盤強化に向けては、弁護士や会計士などの専門家によるサポートやコンプライアンス等の講習会を定期的に行っています。

## ▶ 民間企業との連携

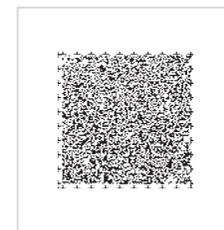
ビジネススキルや専門知識を有する企業人等のボランティア活動「プロボノ」を活用し、競技団体が抱える様々な問題に対し、課題解決に向けた取組の後押しを行っています。

また、競技団体と民間企業をつなぐオンラインマッチングプラットフォームにより、企業の有するノウハウを競技団体の課題解決に効率的・効果的につなげる取組も行っています。

## ▶ 練習拠点の整備

パラスポーツの競技力向上には、継続的に練習できる場の確保が重要です。

このため東京都は、パラアスリートの競技力向上の拠点として、競技団体やチーム、各アスリートが安定的に練習できる施設として「東京都パラスポーツトレーニングセンター」を令和5（2023）年に整備しました。本施設は、パラアスリートの競技力向上に向けた日々のトレーニング施設として活用されています。



### 3 パラスポーツの振興に向けた具体的な取組

#### (4) パラスポーツの「競技力向上」

- 東京から世界へ、東京ゆかりの選手が国際大会等で活躍できるよう、活動を支援
- パラスポーツ競技団体の基盤強化に向け、企業との連携も視野に入れながら様々な支援を実施

##### 選手の育成・強化

- ◆ 東京ゆかりのパラアスリートの競技活動を支援
- ◆ パラアスリートを支えるスタッフの活動環境を整備

各施策の好循環で  
三角形の底辺が広がり  
競技力が更に向上！

##### 競技団体の支援・基盤強化

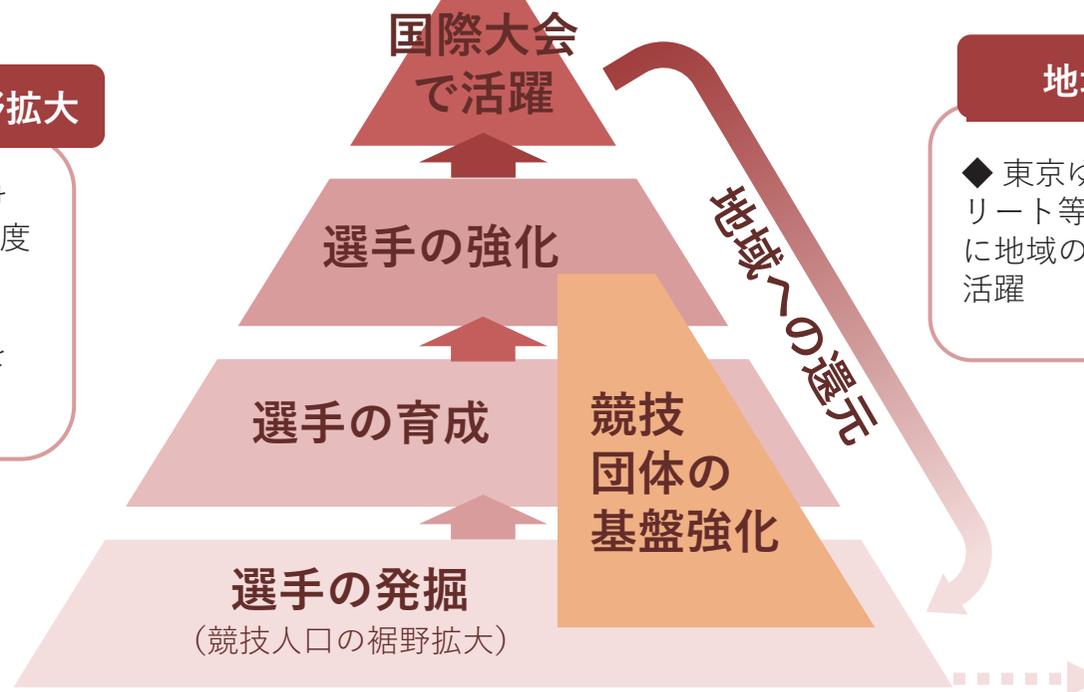
- ◆ 競技団体が実施する強化合宿等の活動を支援
- ◆ 競技団体の組織基盤強化や運営能力向上に向けた支援

##### 選手の発掘・競技人口の裾野拡大

- ◆ 自分に合った競技を見つけられるよう、様々な競技を一度に体験・相談できる場を提供
- ◆ 各競技のルールや魅力等をウェブサイトで紹介

##### 地域への還元

- ◆ 東京ゆかりのパラアスリート等が、その経験を基に地域の講演会や体験会で活躍



## パラスポーツの総合国際大会

### パラリンピック

パラリンピックは、障害のあるトップアスリートが出場する世界最高峰の大会です。4年に一度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催され、オリンピックと同じ年に、同じ開催都市で行われています。障害種別としては現在は、肢体不自由、視覚障害、知的障害の選手が対象です。また、同じ障害であっても人によって程度が異なることから、公平に競うために障害の「種類」や「程度」で分けて競技を行う「クラス分け」があります。東京では昭和39（1964）年にパラリンピックが開催され、令和3（2021）年には世界で初めて2度目の夏季パラリンピックを開催した都市となりました。

### デフリンピック

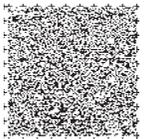
デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味で、デフリンピックは、国際ろう者スポーツ委員会が主催し、オリンピックと同じように4年に一度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されるデフアスリートのための国際総合スポーツ競技大会です。手話言語のほか、スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障が特徴で、第1回は、大正13（1924）年にフランスのパリで開催されました。東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催になります。

### スペシャルオリンピックス

知的障害者のための国際総合スポーツ大会で、オリンピックと同様に4年に一度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されます。大会にはオリジナルのルールがあり、可能な限り同程度の競技能力のアスリートが競い合えるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ分けを行います。また、順位だけでなく、最後まで競技をやり終えたことに対して、全てのアスリートが表彰台に立ち、それぞれの成果をたたえる全員表彰があります。

### その他の総合国際大会

その他、IBSA（国際視覚障がい者スポーツ連盟）や、Virtus（国際知的障がい者スポーツ連盟）などが主催する総合国際大会が開かれています。



## 4 パラスポーツの振興 事業一覧

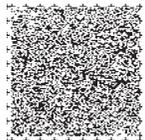
### (1) パラスポーツ 事業一覧

#### 理解促進・普及啓発

事業名	掲載ページ
パラスポーツ応援プロジェクト「TEAM BEYOND」	128,131,165,168,169,205,220,221,244
チャレスポ！TOKYOの開催	132,169
都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進	168,202,221
TOKYOパラスポーツチャンネルの配信	128,168,221
パラスポーツコンシェルジュ事業	179,244
パラスポーツメモリアルイベントの開催	165,207

#### 場の充実

事業名	掲載ページ
パラスポーツ地域サポート事業	134,170,214
区市町村スポーツ推進補助事業	133,166,189,203,214
都立特別支援学校活用促進事業	135,171,215,229
障害児・者の運動習慣定着支援事業	134,172,215
パラスポーツリモート参加事業	173
デジタル技術を活用した障害のある人のスポーツ参加促進事業	173
TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業	128,172,216
障害者のスポーツ施設利用促進事業	135,171,216,229
パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYOパラスポーツ・ナビの運営	127,133,165,220
障害者スポーツセンター、パラスポーツトレーニングセンターの管理運営	172,229



#### 人材の育成・活用

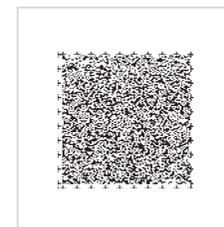
事業名	掲載ページ
パラスポーツセミナーの開催	174,217,235
初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会	174,217,236
パラスポーツ人材の活動活性化事業（TOKYO 障スポ&サポートなど）	175,233,236

#### 競技力の向上

事業名	掲載ページ
パラスポーツ次世代ホープ発掘事業	153,176
東京パラアスリート強化事業	156,177
パラスポーツスタートガイドの運営	128,176
デフリンピックチャレンジ事業	157,178,238
パラスポーツ競技活動支援事業	159,177,237
パラスポーツ団体体制強化支援事業	159,179,237
パラスポーツ団体普及活動支援事業	159,179,238
デフスポーツ競技団体都内活動促進事業	157,177,238
マッチングプラットフォーム構築	159,179,244
パラスポーツ人材地域活動促進事業	157,175
パラスポーツオープン競技大会の開催	169
東京都障害者スポーツ大会の開催	160,178
全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣	160,178

## 多摩・島しょに関する施策

---



## 1 多摩・島しょ地域におけるスポーツ振興

### 多摩・島しょ地域におけるスポーツ振興の重要性

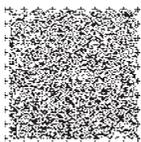
- 東京都には62の市区町村があります。そのうち多摩・島しょ地域は、自然環境に恵まれるなど魅力あふれる地域です。一方で、人口減少・少子高齢化など、様々な課題も抱えています。多摩・島しょ地域の多面的な魅力を伸ばしていくことは、東京の持続的発展のためにも重要です。
- 令和元（2019）年には、東京スタジアムで、RWC2019の開会式と開幕戦を含めた8試合が行われました。  
また、令和3（2021）年に開催された東京2020大会では、武蔵野の森総合スポーツプラザでオリンピックのバドミントン、近代五種及びパラリンピックの車いすバスケットボールを実施し、東京スタジアムではオリンピックのサッカー、近代五種及びラグビーを実施しました。

これらのエリアは、今後も大会の感動と記憶が引き継がれていく場所として、武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパークの名称が付与されています。

- こうしたレガシーを生かし、スポーツを通じて、多摩・島しょ地域の更なる活性化につなげていくことが重要です。

### 多摩・島しょ地域におけるスポーツ振興の方向性

- 令和7（2025）年には東京2025デフリンピックが開催され、多摩・島しょ地域も競技会場になるほか、令和10（2028）年には第39回ねんりんピックの東京開催も予定されています。
- そこで、本編の4つの政策の柱を踏まえ、スポーツに親しむ機会が増え、いつまでも健康・幸福に過ごすための取組、共生社会の実現に向けたスポーツの取組、スポーツを通じて地域の活性化につなげていく取組、そしてスポーツの持続可能性を確保する取組について展開していきます。



## 2 今後の取組

### (1) スポーツに親しむ機会が増え、いつまでも健康・幸福に過ごすための取組

- 多摩・島しょ地域の**高齢化率は高い**傾向にあり、今後も上昇していくことが見込まれています。
- スポーツは、**健康維持や仲間づくり、地域のコミュニティ形成**につながるものであり、高齢者をはじめ、**誰もがいつまでも健康・幸福に過ごせる**よう、スポーツに親しむための取組を推進していくことが必要です。
- 豊かな自然環境を有していることや、プロスポーツチームの拠点があるといった、地域の特色を生かした**市町村の取組を支援**するなど、**スポーツを通じて、多摩・島しょ地域の活力**につなげていきます。

#### ▶市町村が実施するスポーツ振興施策への支援

#### 【市町村が実施するスポーツ振興施策への支援】

##### 市町村のスポーツ振興事業に対する支援

急速な高齢化やデジタル化等、スポーツを取り巻く環境が変化する中、誰もがスポーツを「楽しみ」、スポーツを行う「人」が輝くスポーツ振興を実現するため、身近な場でスポーツができる環境の拡大やパラスポーツの普及など市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

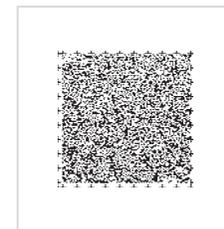
▶関連ページ P.133,166,189,203,214

##### 市町村のスポーツ施設の整備支援

市町村のスポーツ環境の拡充に向け、ユニバーサルデザイン化の推進、暑さ対策、学校施設の市民開放などの施設の改修整備に係る取組を支援します。

▶関連ページ P.182,227

	補助の例
市町村のスポーツ振興事業に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供・働き盛り世代・女性・シニアをターゲットとしたスポーツ推進の取組</li> <li>● eスポーツやユニバーサルコミュニケーション技術などのデジタル技術の活用</li> <li>● パラスポーツの関心度や障害のある人のスポーツ実施率の向上につなげるための取組</li> </ul> <p>など</p>
市町村のスポーツ施設の整備支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たなスポーツ活動の場の創出</li> <li>● 学校施設の市民開放</li> <li>● 暑さ対策等のスポーツ環境の拡充</li> <li>● パラスポーツの推進に係る工事</li> <li>● 全国大会等の開催を見据えた競技環境向上に向けた工事</li> </ul> <p>など</p>



## 2 今後の取組

### (1) スポーツに親しむ機会が増え、いつまでも健康・幸福に過ごすための取組

#### ▶ ライフステージに応じたスポーツ振興

##### ジュニア育成地域推進事業

東京都のジュニア選手の裾野を広げ、競技力の底上げを図るため、小・中・高校生を対象としたスポーツ・運動教室、大会、強化練習等を実施します。

また、未就学児を対象に基礎的運動能力を習得するプログラムを展開します。

▶ 関連ページ P.154



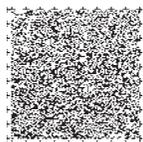
##### 幅広い世代が参加する大会の開催

広くスポーツを普及・振興し、参加者の健康増進と体力向上を図るとともに、市区町村対抗の方式で競技力向上を図ることを目的に開催する東京都スポーツ大会のほか、幅広い世代が参加する大会を開催します。

▶ 関連ページ P.151,190



東京都スポーツ大会（島しょ大会）



## シニアスポーツ振興事業

高齢者のスポーツ実施率向上を図り、高齢者の健康維持・増進に寄与することを目的に、各地域で実施する高齢者対象のスポーツ競技会、講習会・講演会等を支援します。

▶ 関連ページ P.149,187



## 東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催

シニア世代が趣味を通じて、地域やコミュニティ等とつながりを持つきっかけづくりを目的として、シニアに親しまれている種目（囲碁・将棋・健康マージャン・ダンススポーツ・カラオケ・eスポーツ）による交流大会を開催します。

▶ 関連ページ P.149,188

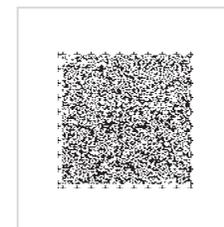


東京都シニア・コミュニティ交流大会

## ねんりんピック東京開催を契機としたシニアスポーツ振興

令和10（2028）年に東京で開催される第39回ねんりんピックに向け、市町村をはじめ関係者と連携し、準備を進めていきます。また、ねんりんピックの気運醸成に向けたシニアスポーツ振興の取組など市町村が実施するスポーツ振興事業に対して補助を行います。

▶ 関連ページ P.203



## 2 今後の取組

### (2) 共生社会の実現に向けたスポーツの取組

- 多摩地域には、都内に2か所ある障害者専用のスポーツ施設のうちのひとつである「東京都多摩障害者スポーツセンター」があるほか、令和5（2023）年には、都立初のパラスポーツの競技力向上の拠点として、「東京都パラスポーツトレーニングセンター」が開所しました。
- こうした都立スポーツ施設の管理・運営のほか、**共生社会の実現に資する市町村等の取組を支援**していきます。

#### ▶ 都立スポーツ施設を活用したパラスポーツの振興

##### 東京都多摩障害者スポーツセンター

障害者専用のスポーツ施設として、障害者の健康増進と社会参加の促進を図るため、スポーツ・レクリエーション、講習会等の場を提供していきます。

▶ 関連ページ P.172,224,229



東京都多摩障害者スポーツセンター

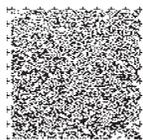
##### 東京都パラスポーツトレーニングセンター

東京2020パラリンピックのレガシーとして、東京都におけるパラスポーツの競技力向上の拠点、普及振興の場を提供していきます。

▶ 関連ページ P.172,224,229



東京都パラスポーツトレーニングセンター



## ▶身近な活動の場・機会の充実

### 障害者のスポーツ施設利用促進事業

障害のある人が身近な地域のスポーツ施設をより安全で快適に利用できるようにするため、市町村や民間のスポーツ施設において、施設管理者が配慮すべきポイントを掲載した「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」の活用を促進します。

また、市町村スポーツ施設に対して、パラスポーツの専門知識を有するアドバイザーを派遣し、施設のニーズや状況に合わせて、障害のある人のスポーツ施設の利用促進に向けた支援を実施します。

▶関連ページ P.135,171,216,229



### 都立特別支援学校活用促進事業

障害のある人や障害者スポーツ団体等が身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校の体育施設をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、学校教育活動に支障のない範囲で開放し、活用を促進します。

また、事業実施校において、障害の有無にかかわらず誰もが参加できるパラスポーツやスポーツ・レクリエーションの体験教室を実施します。

▶関連ページ P.135,141,171,215,229



体験教室（風船バレー）

### TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業

障害当事者等の意見も聞きながら都内各地域で選定してきたバリアフリーに配慮したウォーキングコースについて、多くの方に利用いただけるよう普及を図ります。あわせて、アプリを活用したキャンペーンを実施し、ウォーキングの継続的な実施につなげていきます。

▶関連ページ P.128,172,216



## 2 今後の取組

### (2) 共生社会の実現に向けたスポーツの取組

#### パラスポーツ地域サポート事業

パラスポーツ事業のノウハウを持つアドバイザーが、市町村や地域スポーツクラブ等を訪問し、事業の企画・実施を支援するほか、指導者等のコーディネートや用具の貸与を通じて、身近な地域でスポーツを楽しめる環境づくりを図ります。

また、市区町村間で現状の取組状況や課題についての意見交換、スポーツと医療・福祉等の他分野との連携事例の共有を行うパラスポーツ地域ブロック関係者連絡会議を実施します。

▶ 関連ページ P.134,170,214



パラスポーツ用具の貸出し

#### 障害児・者の運動習慣定着支援事業

障害のある人が日中に滞在している福祉施設や放課後等デイサービスなどに指導者を派遣し、利用者の障害種別や程度等に応じた運動プログラムを定期的を実施することで、身体を動かすことの習慣化を図ります。

また、地域の中で日常的に運動を楽しむ機会を提供するため、地域のスポーツ施設等でも運動プログラムを実施します。

▶ 関連ページ P.134,141,172,215

#### デジタル技術を活用した障害のある人のスポーツ参加促進事業

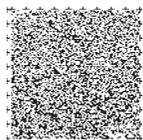
身体を動かしづらい人や、外出が難しい人等が、eスポーツの活用により、通い慣れた施設等の身近な場所で、障害の種別・程度に合わせた方法で、スポーツ・運動を楽しむ機会を創出します。

また、スポーツイベントや大規模展示会等での出展により、体験機会の拡大や障害のある人となない人との交流、企業等への障害のある人のニーズ理解や認知度向上を図ります。

▶ 関連ページ P.173



デジタル技術を活用したeパラスポーツの交流会



## ▶ パラスポーツを支える人材の確保

### パラスポーツセミナーの開催

市町村職員やスポーツ推進委員、医療福祉関係者等を対象にセミナーを開催し、パラスポーツ事業実施のきっかけづくりや好事例の共有・普及を図り、身近な地域におけるパラスポーツ振興のキーパーソンの育成を図ります。

▶ 関連ページ P.174,217,235



パラスポーツセミナー

### 初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会

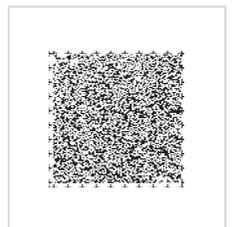
スポーツ推進委員や公立スポーツ施設職員等を対象に、JPSA公認初級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のパラスポーツの現場で、障害のある人のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する人材を育成・確保します。

また、初級パラスポーツ指導員を対象に、中級パラスポーツ指導員養成講習会を開催し、地域のリーダーとして、専門的な知識と技術、経験に基づきパラスポーツの普及振興を支える人材を育成・確保します。

▶ 関連ページ P.174,217,236



パラスポーツ指導員養成講習会



## 2 今後の取組

### (3) スポーツを通じて地域の活性化につなげていく取組

- 東京2025デフリンピックやTHE ROAD RACE TOKYOの開催のほか、豊かな自然を生かした様々なイベント等を実施し、多摩・島しょ地域の活性化につなげていきます。
- また、多摩地域のスポーツ振興の拠点である武蔵野の森総合スポーツプラザや東京スタジアムにおいては、地域のスポーツ振興を支えていくほか、地域のにぎわい創出にも寄与していきます。

#### ▶ 国際大会の開催

##### 東京2025デフリンピックの開催支援

令和7（2025）年に開催される東京2025デフリンピックにおいて、武蔵野の森総合スポーツプラザでバドミントン、府中市立総合体育館でレスリング（フリースタイル）、レスリング（グレコローマン）、東大和グランドボウルでボウリング、伊豆大島ではオリエンテーリングが実施されます。大会の招致主体である（一財）全日本ろうあ連盟などの関係者と連携し、大会の準備・運営に協力していくとともに、大会を通じて、あらゆる人が協働した大会運営、情報保障の充実や円滑なコミュニケーションのサポート、共生社会への理解促進などの取組を進めます。

▶ 関連ページ P.197

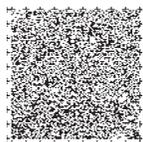


##### 東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックの気運醸成

スポーツのすばらしさ、多様な価値観を認め合う共生社会の大切さなど、両大会に共通するメッセージを、関係機関と連携して一体的に発信するとともに、節目の機会を捉えて様々な取組を展開することで、都民の関心と期待感を高め、大会の成功につなげていきます。

また、市町村の協力を得て各種イベントで大会情報を発信するとともに、市町村が独自に気運醸成に資する事業を実施できるよう支援を行い、連携して開催気運を高めていきます。

▶ 関連ページ P.198



## ▶自然を生かしたスポーツイベント等

### スポーツイベント等の開催

都民が気軽に参加、体験できるスポーツイベントを開催します。

その取組の中で、スポーツ・レクリエーションをはじめ、多様なスポーツを紹介することで認知度向上を図るなど、誰もが楽しむことができるスポーツの普及を進めていきます。

また、市町村のスポーツ振興と競技力の向上、地域の発展に寄与することを目的に、東京都市町村総合スポーツ大会を開催します。

▶関連ページ P.131,151,190,206



TOKYOウォーク2024

### THE ROAD RACE TOKYOの開催

東京2020大会の自転車ロードレース会場である多摩地域では自転車ロードレース「THE ROAD RACE TOKYO」を開催し、東京2020大会のレガシーを未来に継承し、身近なスポーツとしての自転車への興味や関心につなげています。令和6（2024）年には、「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025」（エリート男子）が国際自転車競技連合（UCI）から国際自転車ロードレース（UCIコンチネンタルサーキット class2）として公認されました。UCI公認の国際自転車ロードレースとして「THE ROAD RACE TOKYO」を実施していくことで、よりハイレベルな海外選手等を招へいし、レースの魅力や価値を高め、コースとなる多摩地域の魅力発信にもつなげていきます。

▶関連ページ P.205



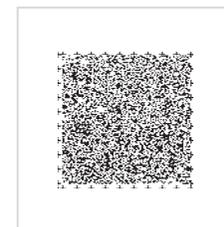
THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2023

#### 自転車ロードレースコースへのマーク設置

東京2020オリンピックで自転車ロードレースのコースとなった道路上に、その証として、サイクリスト等がレガシーと認知できるルートマーカーを設置しています。



ルートマーカー



## 2 今後の取組

### (3) スポーツを通じて地域の活性化につなげていく取組

#### ▶ 都立スポーツ施設を活用したスポーツ振興とにぎわい創出

##### 武蔵野の森総合スポーツプラザ

東京スタジアムと合わせて多摩の一大スポーツ拠点を形成し、競技大会や地域スポーツの拠点として多摩のスポーツ振興に貢献するとともに、大規模イベント等の会場として、地域のにぎわいにも貢献していきます。

▶ 関連ページ P.224,225



武蔵野の森総合スポーツプラザ

##### 東京スタジアム

サッカーJリーグチームやラグビーリーグワンチームのホームグラウンドとして知られるなど、全都的なスポーツの拠点となっているほか、スポーツ以外にもコンサート、試乗会、フリーマーケットなど多彩なイベントを開催していきます。

▶ 関連ページ P.224,225

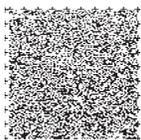


東京スタジアム

#### ▶ 東京2020大会のレガシーの継承

##### 東京2020大会のレガシーを継承する取組

東京2020大会におけるメダル、聖火リレーのトーチ等の記念品や記録等のアーカイブ資産について、適切に保存・管理、利活用し、大会の意義や感動を確かなレガシーとして、将来に引き継いでいきます。



▶ 関連ページ P.202



市町村へのアーカイブ資産等の貸出し

## (4) スポーツの持続可能性を確保する取組

- 多摩地域の人口は令和7（2025）年をピークに減少に転じると見込まれており、島しょ地域でも人口減少、少子高齢化が課題となっています。
- こうした中で、**学校部活動を取り巻く環境**など、様々な変化が生じています。
- 多摩地域は、企業・大学などの地域資源を有しています。こうした地域の持つポテンシャルを生かし、**持続的にスポーツに取り組めるよう**、地域スポーツを**支える担い手の確保・育成等**の取組を支援していきます。

### ▶ 地域スポーツを支える人材の育成等

#### スポーツ推進委員研修会等の開催

地域におけるスポーツ推進委員活動の充実及び資質の向上並びに広域的な連携・協調を図ることで、都内の地域スポーツの振興に資する人材の育成を行います。

▶ 関連ページ P.213,235,240

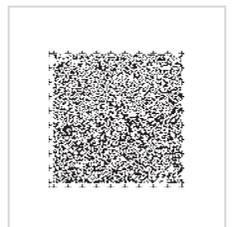


東京都地域スポーツ支援研修会

#### 生涯スポーツ担当者研修会の開催

生涯スポーツ社会の実現に資することを目的として、生涯スポーツに関する行政及びスポーツ団体の関係者に対し、東京都のスポーツ振興における問題意識を共有し、関係者相互の連携を強化します。

▶ 関連ページ P.235



## 2 今後の取組

### (4) スポーツの持続可能性を確保する取組

#### 地域スポーツクラブの設立・育成・運営支援

地域の日常的なスポーツ活動の場として、都民の誰もが参加できる地域スポーツクラブの設立と、安定した活動を支援します。

▶関連ページ P.212,239

#### 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用

令和4（2022）年度から全国で開始となった「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」について、東京都においても運用します。

▶関連ページ P.212,239

#### 登録クラブの活用促進

「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の普及啓発・理解促進及び登録クラブの活用促進のため、市町村に対し研修会等を実施します。

▶関連ページ P.213,240

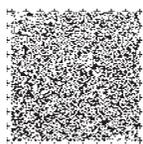
#### 地域のスポーツ振興に向けた関係者会議

持続可能な地域におけるスポーツ環境を整備するため、会議を設置し、地域の実情に応じた新たな担い手の確保やスポーツ関係団体との連携、部活動の地域連携・地域移行に関すること等について議論します。

▶関連ページ P.213,242

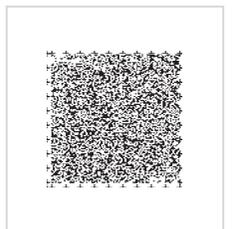


地域スポーツクラブ交流会



# 計画策定の経緯 (審議会・都民意見の聴取)

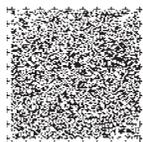
---



# 1 検討経過

## (1) 第29期東京都スポーツ振興審議会等における計画検討経過

時 期	内 容
令和5（2023）年12月22日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第1回）</b> ○知事が「東京都スポーツ推進総合計画の改定について」を東京都スポーツ振興審議会に諮問
令和6（2024）年3月28日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第2回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画」の策定に係る調査審議 ・次期計画期間とその先を見据えた議論について
令和6（2024）年5月16日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第3回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画」の策定に係る調査審議 ・スポーツ・身体活動を通じた健康増進について ・スポーツを通じた地域・経済の活性化について
令和6（2024）年6月20日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第4回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画」の策定に係る調査審議 ・パラスポーツの振興について ・子供・女性のスポーツ振興について
令和6（2024）年9月12日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第5回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画 骨子案」に係る調査審議
令和6（2024）年11月12日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第6回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画 中間まとめ素案」に係る調査審議
令和6（2024）年12月24日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第7回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画 中間まとめ（案）」に係る調査審議
令和6（2024）年12月25日	「（次期）東京都スポーツ推進総合計画 中間まとめ」を公表
令和6（2024）年12月25日～ 令和7（2025）年1月24日	都民及び関係団体等からの意見募集
令和7（2025）年1月29日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第8回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画について（東京都スポーツ振興審議会 答申案）」に係る調査審議
令和7（2025）年2月12日	<b>東京都スポーツ振興審議会（第9回）</b> ○「（次期）東京都スポーツ推進総合計画について」を知事に答申
令和7（2025）年3月28日	「東京都スポーツ推進総合計画」を公表



## 2 東京都スポーツ振興審議会（第29期）委員名簿

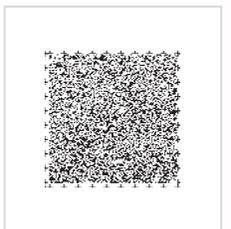
任期：令和5（2023）年12月12日～令和7（2025）年12月11日まで

氏名	現職
まつお てつや ◎松尾 哲矢	(公財) 日本レクリエーション協会 理事 (立教大学スポーツウエルネス学部 教授)
えんよ かつら ○延與 桂	(公社) 東京都障害者スポーツ協会 会長
いとう しょうこう ※1 伊藤 しょうこう	東京都議会議員
おぶち かずなり 小淵 和也	(公財) 笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所 政策ディレクター
かつまた さとし ※1 かつまた さとし	東京都議会議員
かとう てるたか 加藤 晃孝	(一財) 東京私立中学高等学校協会 広報部 副部長
こうもと ともひこ 幸本 智彦	東京商工会議所健康づくり・文化推進委員会 共同委員長 (アクサ生命保険(株) 代表取締役副社長)
さかい だいし ※2 酒井 大史	東京都市長会 (立川市長)
しおみ きよひと 塩見 清仁	(公財) 東京都スポーツ協会 理事長
じょうだい けいこ 上代 圭子	東京国際大学 人間社会学部 准教授
しらと たろう 白戸 太郎	東京都議会議員
たかく のりお ※3 たかく 則男	東京都議会議員

氏名	現職
たかはし なおこ 高橋 尚子	(公財) 日本オリンピック委員会 評議員、 (公財) 日本陸上競技連盟 評議員
たきぐち がく ※4 滝口 学	特別区長会 (荒川区長)
たむら みさこ 田村 みさ子	東京都町村会 (日の出町長)
ながみ かずお ※5 永見 理夫	東京都市長会 (前 国立市長)
にいじま ふみひこ 新島 二三彦	(一社) 東京都スポーツ推進委員協議会 会長
にしかわ たいいちろう ※6 西川 太郎	特別区長会 (前 荒川区長)
にじょう みほ 二條 実穂	パラリンピアン (車いすテニス)
はやし あきひろ ※3 林 あきひろ	東京都議会議員
はら すずむ 原 晋	青山学院大学地球社会共生学部 教授 兼 青山学院大学陸上競技部 監督
みずむら まゆみ 水村 真由美	お茶の水女子大学基幹研究院 教授
みやち もとひこ 宮地 元彦	早稲田大学スポーツ科学学術院 教授
ヨーコ ゼッターランド	オリンピック (バレーボール・アメリカ代表)

◎会長 ○副会長 (五十音順・令和7(2025)年3月1日現在)

- ※1 令和6(2024)年11月1日から
- ※2 令和7(2025)年1月31日から
- ※3 令和6(2024)年10月16日まで
- ※4 令和6(2024)年12月9日から
- ※5 令和6(2024)年12月26日まで
- ※6 令和6(2024)年12月5日まで



## 3 都民アンケート

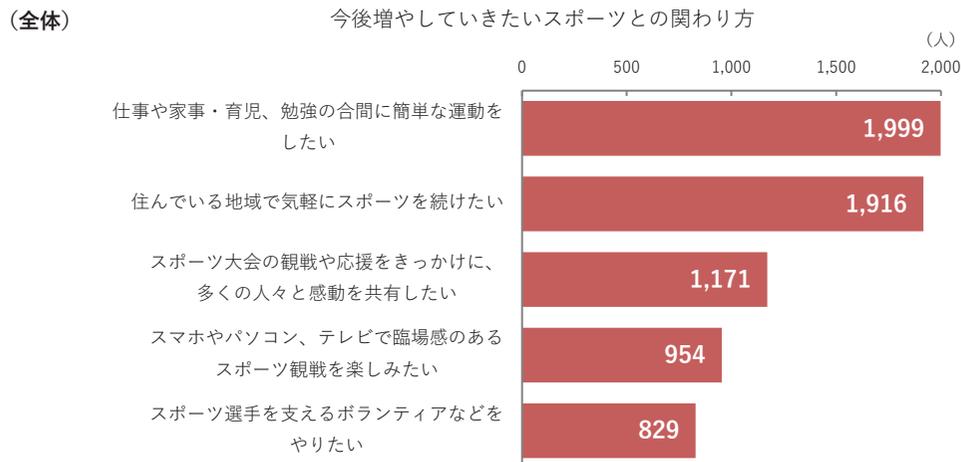
### (1) SNSアンケート概要

#### 都民の関心、期待の高い項目を把握し、政策を強化するため、アンケート調査を実施

- 調査対象：東京都の各種公式SNS登録者
- 調査方法：アンケート専用ホームページから回答
- 調査期間：令和6（2024）年9月15日（日）～同月30日（月）
- 回答者数：3,604

Q. スポーツには「する」「みる」「支える」といった色々な関わり方があります。今後、どのような関わりを増やしていきたいですか。

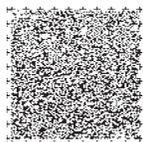
#### 【年代別の分析（アンケートTOP5）】



全体	20代未満 ・20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
55.5%	77.2%	69.0%	70.4%	62.6%	45.3%	26.7%	20.8%
53.2%	70.2%	43.1%	49.6%	52.1%	56.4%	58.8%	62.5%
32.5%	40.4%	26.4%	31.9%	36.1%	31.0%	30.0%	25.0%
26.5%	38.6%	25.0%	25.1%	27.2%	25.4%	27.6%	39.6%
23.0%	31.6%	12.5%	19.8%	28.8%	22.4%	15.2%	4.2%

#### POINT

- 20～40代は「仕事や家事・育児、勉強などの合間」に簡単な運動をしたい割合が高い
- 年代が高いほど「住んでいる地域」で気軽にスポーツを続けたい割合が高い



Q. スポーツをする楽しさや、みる感動を高めていくための手段として、デジタルの活用が考えられます。デジタルでどのようなことが実現できると良いと思いますか。

【関心の高かったもの（アンケートTOP3）】

【方向性】

- 1. データに基づいたアドバイス **54.9%**
- 2. 競技会場にいるような観戦体験 **40.9%**
- 3. 言葉や障害の有無に関係ないコミュニケーション **36.5%**

スポーツで輝く①

企業等と連携し、データ活用による健康増進等を促進



スポーツでにぎわう①

最新の技術を活用し、重度障害などがある人も大会へ参画



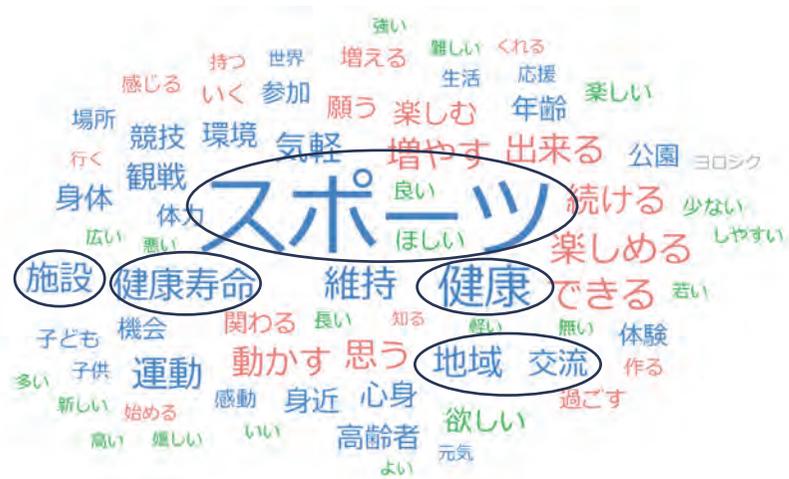
スポーツでつながる②

ユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進



Q. スポーツを通して叶えたい夢や願いを自由にお書きください。

【頻繁に使われていた単語】



品詞ごとに色分け 青：名詞 赤：動詞 緑：形容詞

性別も年齢も障がいの有無も関係なく、全ての人がスポーツを通して、一緒に楽しい経験が出来るといい（50代女性）

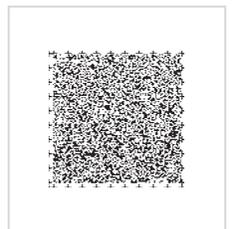
身近にできる運動を継続してできるような仕組みや機会の提供を受け、健康寿命を伸ばして自宅で生活したい（60代女性）

いつまでもスポーツで健康を保ち人生を楽しみたい（20代男性）

スポーツを通じて地域の交流を深め地域に貢献したい（70代男性）

どの年代もスポーツを楽しめる施設が充実すると良い（40代女性）

スポーツを中心に、健康や地域での交流を実現したい  
ということがうかがえる



## 4 子供へのアンケート

### (1) こども都庁モニター概要

#### 子供のスポーツ振興に向けて、次期計画における現状課題の認識に活用するため、アンケート調査を実施

- 調査対象：未就学児（保護者）及び小学生～高校生
- 調査期間：令和6（2024）年6月22日（土）～7月1日（月）
- 調査方法：アンケート専用ホームページから回答
- 回答者数：1,168

Q. できるようになりたい（上手になりたい）スポーツはありますか？100文字以内でいくつでも書いてください。

#### 【意見抜粋（要旨）】

体を動かすことならどのようなスポーツにも興味を持ってチャレンジしてほしい（未就学児保護者）

水泳はもちろん、生涯にわたって仲間と楽しめる球技も楽しんでもらいたい（未就学児保護者）

水泳、テニス、跳び箱、鉄棒、マット（小学校低学年）

走るコツを教わったら走るのが速くなったので、また教えてもらえることがあれば、参加したい（小学校低学年）

小学校でポッチャをやって楽しかったので、もっと上手になりたい（小学校高学年）

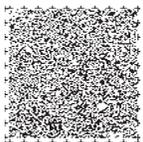
部活で中長距離をやっているが、記録が伸び悩んでいるので、走り方やチャカラ配分などを勉強したい（中学生）

ラグビー、ダンス、ブレイキン。競技人口が少ないスポーツをやってみたい（中学生）

スポーツクライミング。東京大会からオリンピック競技になり、選手が勢よく壁を登っていく姿に感動した（高校生）

#### POINT

- 苦手を克服したい、より良い成績を残したいと前向きに考えている子供が多い。
- 複数のスポーツを挙げている子供が多く、幅広いスポーツへの関心がうかがえる。



#### 方向性

政策の柱1 スポーツで輝く① ▶関連ページ P.140  
苦手克服のサポート等、スポーツ離れを抑制

政策の柱1 スポーツで輝く① ▶関連ページ P.142  
継続的なスポーツ機会の創出・提供

## 5 都民等及び関係団体からの御意見

### (1) 「東京都スポーツ推進総合計画」中間まとめに対する意見募集

#### 御意見の募集について

本計画の策定に当たっては、東京におけるスポーツの推進について、都民の皆さんに知っていただくとともに、各取組の実効性を高めるため、「東京都スポーツ推進総合計画」中間まとめを令和6年12月25日に公表し、都民の皆さんや団体等から御意見を公募しました。

- 募集期間 令和6年12月25日から令和7年1月24日まで
- 内容 「（次期）東京都スポーツ推進総合計画」中間まとめへの意見公募
- 意見数 43件  
※詳細は「スポーツTOKYOインフォメーション」に掲載しています。



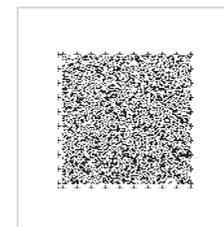
### (2) 障害者関係団体等との意見交換

#### 障害者関係団体等からの御意見について

本計画の策定に当たっては、パラスポーツの振興について、障害当事者や障害者関係団体との意見交換も実施しました。

#### 御意見の例

- パラスポーツを「誰でも楽しめるスポーツ」としてもっと普及していく必要がある。
- オリンピックにはないデフリンピック特有の競技があることや、聴覚に障害のある人がどのようにスポーツに取り組んでいるかを知ってほしい。
- 幼少期から、障害のある人とない人がスポーツを通じて交流できる場が増えるとよい。
- 知的障害者のスポーツ活動には周囲のサポートが重要なので、人材育成が必要。  
また、障害のことを知ってもらう意味でも、ボランティアが増えるとよい。
- 障害者に身近な福祉施設の職員等にスポーツ・運動の効用を知ってもらい、スポーツを勧めてもらうことが重要。



## 6 取組一覧

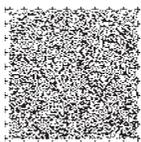
### 重点政策テーマ

#### Project 0：スポーツの力を高める「スポーツDXプロジェクト」

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>スポーツを通じた健康増進</b>			
スポーツを通じた健康増進事業	スポーツ推進本部	73,74,77	
<b>アスリートの競技力向上</b>			
東京都スポーツ協会等のデジタル化による事務効率化支援	スポーツ推進本部	73,74,77	●
<b>誰もがスポーツと触れ合い、楽しむ機会の創出</b>			
東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催	スポーツ推進本部	73,75,77	●
デジタル技術を活用した障害のある人のスポーツ参加促進事業	スポーツ推進本部	73,75,77	●
バーチャルスポーツに触れる機会の提供	スポーツ推進本部	73,75	●
eスポーツの活用に関する調査・検証	スポーツ推進本部	73,75,77	●
<b>スポーツを通じた相互理解の促進</b>			
ユニバーサルコミュニケーションの促進	スポーツ推進本部	73,76,77	
<b>スポーツ施設検索の利便性向上</b>			
スポーツ案内サイト「SPOPITA」の運営	スポーツ推進本部	73,76,77	●
<b>企業等との連携による新たな価値の創出</b>			
マッチングプラットフォーム構築	スポーツ推進本部	73,76,77	●

#### Project 1：スポーツとともに育つ「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>「スポーツ好き」を醸成</b>			
子供が様々な運動・スポーツに親しむ機会の創出	スポーツ推進本部	79,80,83	
幼児期の外遊び習慣づくり	スポーツ推進本部	79,80,83	
保護者のフィジカルリテラシーの涵養	スポーツ推進本部	79,80,83	
<b>個々の実態・多様なニーズへ対応</b>			
苦手克服のサポート等、スポーツ離れを抑制	スポーツ推進本部	79,81,83	
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、 教育庁	79,81	●
障害児・者の運動習慣定着支援事業	スポーツ推進本部	79,81,83	●
「楽しむスポーツ」の普及	スポーツ推進本部	79,81,83	●
トップアスリート発掘・育成事業	スポーツ推進本部	79,81,83	●
スポーツを通じた国際交流	スポーツ推進本部	79,81,83	●
東京パラアスリート強化事業	スポーツ推進本部	79,81,83	●
<b>スポーツに触れ、親しむ時間・機会の創出</b>			
気軽にできる効果的な運動の普及啓発	スポーツ推進本部	79,82,83	
子供のニーズに対応した効果的な情報発信	スポーツ推進本部	79,82,83	
継続的なスポーツ機会の創出・提供	スポーツ推進本部	79,82,83	●



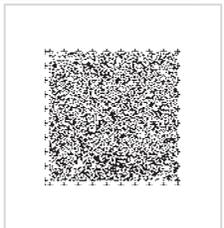
※レガシービジョン：TOKYOスポーツレガシービジョン（2022年1月）を継承する取組

※スポーツ推進本部は、令和7（2025）年4月設置

**Project 2：多様性があふれる「スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト」**

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>ねんりんピックの東京開催を契機としたシニアスポーツ振興</b>			
<b>スポーツを通じた健康維持・増進</b>			
シニアスポーツ振興事業	スポーツ推進本部	87,88,98	
スポーツを通じた健康増進事業	スポーツ推進本部	87,88	
簡単に楽しめるスポーツの普及	スポーツ推進本部	87,88	●
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	87,88,98	●
<b>スポーツを通じた社会参加や仲間づくりの促進</b>			
東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催	スポーツ推進本部	87,89,98	●
都民スポレクふれあい大会	スポーツ推進本部	87,89	●
スポーツ以外の分野とのコラボレーションによりスポーツに親しめる取組の検討	スポーツ推進本部	87,89	●
スポーツ大会への都民招待	スポーツ推進本部	87,89	●
スポーツTOKYOインフォメーションの運営	スポーツ推進本部	87,89	●
<b>高齢者が活躍できる機会の創出</b>			
シニア健康スポーツフェスティバルの開催	スポーツ推進本部	87,90	●
全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団派遣	スポーツ推進本部	87,90	
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	87,90	●
<b>女性の多様なニーズを捉えたスポーツへの参画・活躍を推進</b>			
女性向けスポーツ情報の発信	スポーツ推進本部	91,92,98	
女性特有の健康課題の予防に資するスポーツの普及・啓発	スポーツ推進本部	91,92	
ライフステージに応じたスポーツに親しむ時間・機会の創出	スポーツ推進本部	91,92	●
多忙な働き盛り世代に向けた取組支援	スポーツ推進本部	91,92,98	●
女性アスリート特有の課題に関する情報発信	スポーツ推進本部	91,92,98	●
スポーツ関係団体における女性の参画促進	スポーツ推進本部	91,92	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>障害の有無にかかわらずパラスポーツを楽しめる取組を推進</b>			
<b>身近な地域でスポーツを楽しめる場を創出</b>			
障害者スポーツセンター、パラスポーツトレーニングセンターの運営	スポーツ推進本部	93,94	●
パラスポーツ地域サポート事業	スポーツ推進本部	93,94	●
区市町村スポーツ施設のバリアフリー化支援	スポーツ推進本部	93,94	●
障害児・者の運動習慣定着支援事業	スポーツ推進本部	93,94,98	●
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、 教育庁	93,94,98	●
<b>自分に合ったパラスポーツに出会い、高みを目指せる環境を構築</b>			
パラスポーツ次世代ホープ発掘事業	スポーツ推進本部	93,95,98	●
東京パラアスリート強化事業	スポーツ推進本部	93,95	●
<b>デジタル技術を活用し、より多くの「できる」を体験</b>			
デジタル技術を活用した障害のある人のスポーツ参加促進事業 （障害種別や程度に応じた運動機会の創出、eスポーツ交流会等の実施、企業等に対する当事者ニーズのPR）	スポーツ推進本部	93,96,98	●
<b>スポーツを通じた相互理解を促進</b>			
パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	93,97,98	●
パラスポーツメモリアルイベントの開催	スポーツ推進本部	93,97	●



## 6 取組一覧

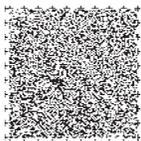
### 重点政策テーマ

#### Project 3 : スポーツの力で世界をリードする「TOKYOの魅力向上プロジェクト」

#### Project 4 : スポーツを楽しむ環境を実現する「スポーツFACILITIESプロジェクト」

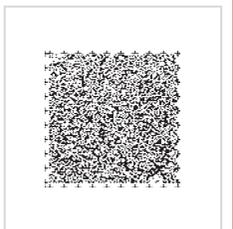
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>国際スポーツ大会を盛り上げ、東京に様々な価値を生み出していく</b>			
東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた取組	スポーツ推進本部	101,102,106	●
東京マラソンの開催支援	スポーツ推進本部	101,103,106	
ランナー応援イベントの開催	スポーツ推進本部	101,103	
東京レガシーハーフマラソンの開催支援	スポーツ推進本部	101,103	●
東京レガシースタジアムの開催	スポーツ推進本部	101,103	●
<b>多種多様な大会の誘致・開催により、東京のスポーツの力を高めていく</b>			
国際大会誘致・調査支援、開催支援	スポーツ推進本部	101,104,106	●
都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進	スポーツ推進本部	101,104,106	●
国際スポーツ関係者への情報発信	スポーツ推進本部	101,104,106	●
海外向けウェブページでの情報発信	スポーツ推進本部	101,104,106	●
<b>国際スポーツ大会の経験をレガシーとし、スポーツ大会の運営を支援していく</b>			
国際スポーツ大会の経験をレガシーとし、スポーツ大会の運営を支援していく	スポーツ推進本部	101,105	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>東京のスポーツインフラの中核を担う施設の強みを発揮</b>			
都立スポーツ施設の管理運営	スポーツ推進本部	110,111,115	●
東京辰巳アイスアリーナの開業・運営	スポーツ推進本部	110,111,115	●
障害者スポーツセンター、パラスポーツトレーニングセンターの運営	スポーツ推進本部	110,111	●
都立スポーツ施設の戦略的活用 (ユニークベニューなどの多目的利用、18施設の一体的なプロモーション、施設を活用した多様なコンテンツの提供)	スポーツ推進本部	110,112,115	●
<b>安全・安心・信頼のスポーツ環境を提供</b>			
都立スポーツ施設の大規模改修	スポーツ推進本部	110,113,115	●
誰もが利用しやすい施設環境の整備推進	スポーツ推進本部	110,113,115	●
都立スポーツ施設における暑さ対策の推進	スポーツ推進本部	110,113	
クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）等としての役割	スポーツ推進本部、環境局	110,113	
都立スポーツ施設における環境配慮の取組	スポーツ推進本部	110,113	
<b>身近なスポーツ環境の更なる充実</b>			
区市町村等のスポーツ施設の整備支援	スポーツ推進本部	110,114,115	●
継続的なスポーツ機会の創出・提供	スポーツ推進本部	110,114,115	●
スポーツ案内サイト「S P O P I T A」の運営	スポーツ推進本部	110,114	●
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、教育庁	110,114	●



**Project 5：スポーツを支える仕組みを創る「支える担い手確保プロジェクト」**

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>新たな担い手の確保により、持続可能な地域のスポーツ振興を推進</b>			
地域のスポーツ振興に向けた関係者会議	スポーツ推進本部	117,118,122	
指導者資格等取得支援	スポーツ推進本部	117,118,122	
<b>ボランティアの活躍機会を拡大し、担い手の確保につなげる</b>			
スポーツイベントにおける活動機会の提供	スポーツ推進本部	117,119,122	●
<b>人材確保・育成</b>			
指導者資格等取得支援	スポーツ推進本部	117,120,122	
スポーツイベントにおける活動機会の提供	スポーツ推進本部	117,120,122	●
パラスポーツセミナーの開催	スポーツ推進本部	117,120,122	●
<b>スポーツ関係団体の組織基盤強化等</b>			
競技団体等組織基盤強化支援事業	スポーツ推進本部	117,121,122	●
パラスポーツ団体体制強化支援事業	スポーツ推進本部	117,121,122	●
地域スポーツクラブの設立・育成・運営支援	スポーツ推進本部	117,121,122	
東京都地域スポーツクラブサポートネット での情報提供	スポーツ推進本部	117,121,122	
登録クラブの活用促進	スポーツ推進本部	117,121,122	
マッチングプラットフォーム構築	スポーツ推進本部	117,121,122	●



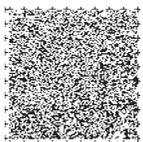
## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

#### 政策の柱1：スポーツで輝く

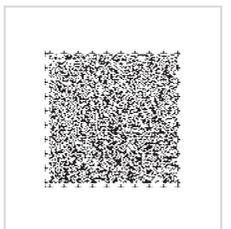
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策① スポーツに触れる「はじめの一步」を後押し</b>			
<b>スポーツをすることへの関心喚起</b>			
<b>都民へのスポーツに関する情報発信</b>			
スポーツTOKYOインフォメーションの運営	スポーツ推進本部	127	●
スポーツ案内サイト「SPOPITA」の運営	スポーツ推進本部	127	●
パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYO パラスポーツ・ナビの運営	スポーツ推進本部	127	●
パラスポーツスタートガイドの運営	スポーツ推進本部	128	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	128	●
TOKYOパラスポーツチャンネルの配信	スポーツ推進本部	128	●
TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業	スポーツ推進本部	128	●
<b>スポーツに関する調査</b>			
都民のスポーツ活動に関する実態調査	スポーツ推進本部	129	●
障害者のスポーツに関する意識調査	スポーツ推進本部	129	●
eスポーツの活用に関する調査・検証	スポーツ推進本部	129	●
<b>スポーツを通じた健康増進</b>			
スポーツを通じた健康増進事業	スポーツ推進本部	130	
健康的な生活習慣に関する普及啓発	保健医療局	130	

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>スポーツを始める機会の創出・提供</b>			
<b>多様なスポーツイベントの開催</b>			
スポーツの日記念イベントの開催	スポーツ推進本部	131	●
ウォーキングイベントの開催	スポーツ推進本部、 保健医療局、水道局	131	●
プロスポーツチーム等との連携	スポーツ推進本部	131	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	131	●
チャレスポ！TOKYOの開催	スポーツ推進本部	132	●
東京2020大会レガシー継承事業	スポーツ推進本部	132	●
都立スポーツ施設を活用したスポーツ イベント等の展開	スポーツ推進本部	132	●
多彩なスポーツの取組を通じた交流機会の提供	スポーツ推進本部	132	●
<b>区市町村が実施するスポーツイベント等への支援</b>			
スポーツイベントの情報発信	スポーツ推進本部	133	●
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	133	●
<b>地域の中で運動を楽しむ機会を提供</b>			
障害児・者の運動習慣定着支援事業	スポーツ推進本部	134	●
パラスポーツ地域サポート事業	スポーツ推進本部	134	●
都内公立学校体育施設の開放	教育庁	135	
障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ推進本部	135	●
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、 教育庁	135	●
都立公園のスポーツ施設における利用時間 及び利用日の拡大	建設局	136	
ウォーキング環境の整備	建設局、港湾局	136	



取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策② ライフステージに応じたスポーツを推進</b>			
<b>子供のスポーツ振興</b>			
<b>子供たちがスポーツに親しみ、楽しむきっかけの提供</b>			
T O K Y Oジュニアスポーツアンバサダー	スポーツ推進本部	139	
東京都地域スポーツクラブサポートネット による情報提供	スポーツ推進本部	139	
保護者のフィジカルリテラシーの涵養	スポーツ推進本部	139	
幼児期の外遊び習慣づくり	スポーツ推進本部	140	
苦手克服のサポート等、スポーツ離れを抑制	スポーツ推進本部	140	
気軽にできる効果的な運動の普及啓発	スポーツ推進本部	140	
子供が様々な運動・スポーツに親しむ機会の 創出	スポーツ推進本部	141	
子供の未来を育む「体験活動」推進区市町村 支援事業（「遊び」特別推進枠）	子供政策連携室	141	
バーチャルスポーツに触れる機会の提供	スポーツ推進本部	141	●
障害のある子供がスポーツに出会える・ 楽しめる機会を提供	スポーツ推進本部	141	●
<b>子供たちが体を動かす場の確保</b>			
継続的なスポーツ機会の創出・提供	スポーツ推進本部	142	●
子供の遊び場等整備事業	子供政策連携室	142	
放課後子供教室	教育庁	142	
校庭等の芝生化の推進	環境局	142	

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>学校における運動量の十分な確保と優れた実践の普及</b>			
「楽しむスポーツ」の普及	スポーツ推進本部	143	●
児童・生徒の運動時間の十分な確保	教育庁	143	
都立特別支援学校におけるスポーツ教育推進	教育庁	143	
高等学校における体力向上のモデル校「エン ジョイ・スポーツプロジェクト」の実施	教育庁	144	
体育健康教育推進校	教育庁	144	
地域スポーツクラブ活動体制整備事業・ 文化部活動の地域移行等に向けた実証事業	教育庁	144	
部活動指導員の導入	教育庁	145	
運動部活動指導者養成講習会の実施	教育庁	145	
各学校における「学校2020レガシー」の取組 の支援	教育庁	145	●
<b>児童・生徒の体力の把握と活用</b>			
学校体育実技指導者講習会の開催	教育庁	146	
東京都統一体力テストの実施	教育庁	146	

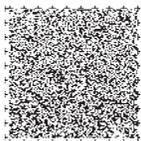


## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>働き盛り世代のスポーツ振興</b>			
<b>企業におけるスポーツ振興</b>			
ライフステージに応じたスポーツに親しむ 時間・機会の創出	スポーツ推進本部	147	●
多忙な働き盛り世代に向けた取組支援	スポーツ推進本部	147	●
東京都スポーツ推進企業認定制度の運営	スポーツ推進本部	147	●
スポーツを通じた健康増進事業	スポーツ推進本部	148	
東京ライフ・ワーク・バランス認定企業制度	産業労働局	148	
ライフ・ワーク・バランスEXPO	産業労働局	148	
<b>高齢者のスポーツ振興</b>			
<b>いつまでも心身ともに健康に生きるためのスポーツ振興</b>			
シニアスポーツ振興事業	スポーツ推進本部	149	
シニア健康スポーツフェスティバルの開催	スポーツ推進本部	149	●
全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団派遣	スポーツ推進本部	149	
東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催	スポーツ推進本部	149	●
人生100年時代セカンドライフ応援事業	福祉局	150	
老人クラブ支援事業	福祉局	150	
老人クラブ区市町村支援事業	福祉局	150	
簡単に楽しめるスポーツの普及	スポーツ推進本部	150	●
幅広い世代が参加する大会の開催	スポーツ推進本部	151	●

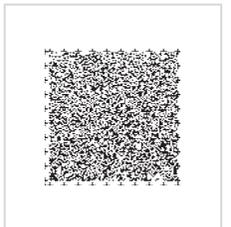
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動</b>			
<b>アスリートの競技力向上に向けた取組</b>			
<b>才能ある選手の発掘</b>			
トップアスリート発掘・育成事業	スポーツ推進本部	153	●
パラスポーツ次世代ホープ発掘事業	スポーツ推進本部	153	●
<b>東京にゆかりのあるアスリートの競技力向上</b>			
ジュニア選手育成・強化事業	スポーツ推進本部	154	●
ジュニア育成地域推進事業	スポーツ推進本部	154	●
国際大会等を目指すアスリートへの支援	スポーツ推進本部	154	●
国スポ候補選手強化事業・国スポ選手健康 調査チェック等事業	スポーツ推進本部	155	●
東京育ちアスリートの応援	スポーツ推進本部	155	●
パフォーマンスサポート事業	スポーツ推進本部	155	●
指導者育成・スポーツ専門人材活用事業	スポーツ推進本部	156	●
スポーツを通じた国際交流	スポーツ推進本部	156	●
東京パラアスリート強化事業	スポーツ推進本部	156	●
パラスポーツ人材地域活動促進事業	スポーツ推進本部	157	●
デフスポーツ競技団体都内活動促進事業	スポーツ推進本部	157	●
デフリンピックチャレンジ事業	スポーツ推進本部	157	●



政策の柱2：スポーツでつながる

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>アスリートを支える人材・基盤の強化</b>			
競技団体等組織基盤強化支援事業	スポーツ推進本部	158	●
東京都スポーツ協会等のデジタル化による事務効率化支援	スポーツ推進本部	158	●
パラスポーツ競技活動支援事業	スポーツ推進本部	159	●
パラスポーツ団体体制強化支援事業	スポーツ推進本部	159	●
マッチングプラットフォーム構築	スポーツ推進本部	159	●
パラスポーツ団体普及活動支援事業	スポーツ推進本部	159	●
<b>大会への選手・役員の派遣</b>			
国民スポーツ大会への選手・役員の派遣等	スポーツ推進本部	160	●
東京都障害者スポーツ大会の開催	スポーツ推進本部	160	●
全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣	スポーツ推進本部	160	●
<b>アスリートのスポーツキャリア形成支援</b>			
アスリートのスポーツキャリア形成支援に係る取組の検討	スポーツ推進本部	161	
<b>優秀な成績を収めた東京のトップアスリートの表彰</b>			
東京都栄誉賞の贈呈	生活文化局	161	
都民スポーツ大賞の贈呈	スポーツ推進本部	161	
東京スポーツ奨励賞の贈呈	スポーツ推進本部	161	

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く</b>			
<b>パラスポーツの理解促進・普及啓発</b>			
<b>パラスポーツのファンやサポーターの裾野拡大</b>			
パラスポーツメモリアルイベントの開催	スポーツ推進本部	165	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	165	●
スポーツTOKYOインフォメーションの運営	スポーツ推進本部	165	●
パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYOパラスポーツ・ナビの運営	スポーツ推進本部	165	●
障害者のスポーツに関する意識調査	スポーツ推進本部	166	●
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	166	●
東京2025デフリンピックを契機とした学校を通じた取組	教育庁	166	
都立特別支援学校における部活動振興	教育庁	167	
ヒューマンライツ・フェスタ東京	総務局	167	
パラスポーツの理解促進と裾野拡大（意識啓発等）	総務局	167	
パラスポーツの振興とバリアフリー推進に向けた懇談会	スポーツ推進本部	167	

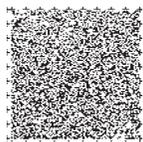


## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

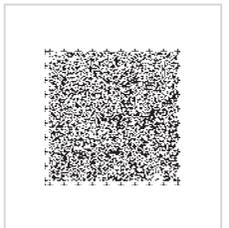
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>パラスポーツの観戦機会等の充実</b>			
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	168	●
都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進	スポーツ推進本部	168	●
TOKYOパラスポーツチャンネルの配信	スポーツ推進本部	168	●
東京都人権プラザにおける「スポーツと人権」をテーマとした展示	総務局	168	
<b>パラスポーツを楽しむ体験機会の創出</b>			
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	169	●
チャレスポ！TOKYOの開催	スポーツ推進本部	169	●
パラスポーツオープン競技大会の開催	スポーツ推進本部	169	●
都立特別支援学校におけるスポーツ教育推進	教育庁	169	

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>場の充実</b>			
<b>身近な活動の場・機会の充実</b>			
パラスポーツ地域サポート事業	スポーツ推進本部	170	●
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、 教育庁	171	●
障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ推進本部	171	●
TOKYOユニバーサルウォーキング普及事業	スポーツ推進本部	172	●
障害児・者の運動習慣定着支援事業	スポーツ推進本部	172	●
障害者スポーツセンター、パラスポーツ トレーニングセンターの運営	スポーツ推進本部	172	●
<b>デジタル技術を活用したパラスポーツの実施促進</b>			
パラスポーツリモート参加事業	スポーツ推進本部	173	●
デジタル技術を活用した障害のある人の スポーツ参加促進事業	スポーツ推進本部	173	●
<b>支える人材の確保</b>			
<b>パラスポーツを支える人材の確保</b>			
パラスポーツセミナーの開催	スポーツ推進本部	174	●
初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会	スポーツ推進本部	174	●
パラスポーツ人材の活動活性化事業	スポーツ推進本部	175	●
パラスポーツ人材地域活動促進事業	スポーツ推進本部	175	●



取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>競技力向上</b>			
<b>競技スポーツとの出会いをサポート</b>			
パラスポーツ次世代ホープ発掘事業	スポーツ推進本部	176	●
パラスポーツスタートガイドの運営	スポーツ推進本部	176	●
<b>東京にゆかりのあるアスリートの競技力向上</b>			
パラスポーツ競技活動支援事業	スポーツ推進本部	177	●
デフスポーツ競技団体都内活動促進事業	スポーツ推進本部	177	●
東京パラアスリート強化事業	スポーツ推進本部	177	●
東京都障害者スポーツ大会の開催	スポーツ推進本部	178	●
全国障害者スポーツ大会への選手・役員派遣	スポーツ推進本部	178	●
デフリンピックチャレンジ事業	スポーツ推進本部	178	●
<b>パラスポーツに関する団体等の基盤強化</b>			
パラスポーツ団体体制強化支援事業	スポーツ推進本部	179	●
マッチングプラットフォーム構築	スポーツ推進本部	179	●
パラスポーツ団体普及活動支援事業	スポーツ推進本部	179	●
パラスポーツコンシェルジュ事業	スポーツ推進本部	179	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策② バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進</b>			
<b>誰もが気軽に楽しめるユニバーサルデザイン志向のスポーツ環境整備</b>			
<b>バリアフリー化・ユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進</b>			
都立スポーツ施設の大規模改修	スポーツ推進本部	182	●
区市町村等のスポーツ施設の整備支援	スポーツ推進本部	182	●
バリアフリー化等の普及・促進	スポーツ推進本部、 都市整備局、 産業労働局、交通局	182	●
多言語対応の推進	スポーツ推進本部	183	
都立公園における音声認識システムの導入	建設局	183	
ユニバーサルコミュニケーション技術や 機器の導入を支援	生活文化局、 スポーツ推進本部、 都市整備局、 福祉局、交通局	183	
ユニバーサルコミュニケーションの促進		183	
<b>スポーツに関する技術開発・市場開拓への支援</b>			
<b>スポーツに関する技術開発・市場開拓への支援</b>			
T O K Y O 戦略的イノベーション促進事業	産業労働局	184	
シニア・福祉・アクセシビリティ関連製品等 の販路開拓助成事業	産業労働局	184	

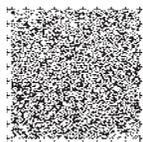


## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる</b>			
<b>性別、年齢などに関わらずそれぞれのレベルに応じたスポーツを楽しむ</b>			
<b>高齢者のスポーツ振興</b>			
シニアスポーツ振興事業	スポーツ推進本部	187	
シニア健康スポーツフェスティバルの開催	スポーツ推進本部	187	●
全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手団派遣	スポーツ推進本部	187	
東京都シニア・コミュニティ交流大会の開催	スポーツ推進本部	188	●
スポーツを通じた健康増進事業	スポーツ推進本部	188	
人生100年時代セカンドライフ応援事業	福祉局	188	
老人クラブ支援事業	福祉局	188	
老人クラブ区市町村支援事業	福祉局	189	
簡単に楽しめるスポーツの普及	スポーツ推進本部	189	●
多彩なスポーツの取組を通じた交流機会の提供	スポーツ推進本部	189	●
スポーツ大会への都民招待	スポーツ推進本部	189	●
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	189	●
幅広い世代が参加する大会の開催	スポーツ推進本部	190	●

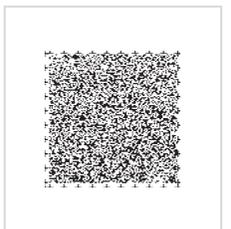
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>女性のスポーツ振興</b>			
女性向けスポーツ情報の発信	スポーツ推進本部	191	
女性特有の健康課題の予防に資するスポーツの普及・啓発	スポーツ推進本部	191	
ライフステージに応じたスポーツに親しむ時間・機会の創出	スポーツ推進本部	191	●
多忙な働き盛り世代に向けた取組支援	スポーツ推進本部	191	●
女性アスリート特有の課題に関する情報発信	スポーツ推進本部	192	●
スポーツ関係団体における参画促進	スポーツ推進本部	192	●
東京ライフ・ワーク・バランス認定企業制度	産業労働局	192	
ライフ・ワーク・バランスEXPO	産業労働局	192	
<b>スポーツを通じた被災地との交流</b>			
<b>スポーツを通じた被災地交流</b>			
スポーツを通じた被災地交流事業	スポーツ推進本部	193	●
<b>スポーツを通じた国際交流</b>			
<b>スポーツを通じた国際交流の推進</b>			
スポーツを通じた国際交流	スポーツ推進本部	193	●



### 政策の柱3 スポーツでにぎわう

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス</b>			
<b>東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた主な取組</b>			
<b>東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックを通じた主な取組</b>			
東京2025世界陸上の開催支援	スポーツ推進本部	197	●
東京2025デフリンピックの開催支援	スポーツ推進本部	197	●
ビジョン2025の実現に向けた取組	スポーツ推進本部	198	●
大会の気運醸成	スポーツ推進本部	198	
大会における子供の参画	スポーツ推進本部	198	●
ユニバーサルコミュニケーションの促進	スポーツ推進本部	199	
国際スポーツ大会におけるガバナンス確保の取組	スポーツ推進本部	199	●
デフアスリートやデフ競技団体の活動支援	スポーツ推進本部	200	●
最新の技術を活用し、重度障害などがある人も大会へ参画	スポーツ推進本部	200	●
誰もが利用しやすい施設環境の整備推進	スポーツ推進本部	200	●
東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックに向けた文化プログラム	生活文化局	201	●
<b>国際スポーツ大会に対する取組</b>			
<b>国際スポーツ大会に対する取組</b>			
国際大会誘致・調査支援、開催支援	スポーツ推進本部	201	●
国際大会の誘致に向けた海外発信	スポーツ推進本部	201	●
都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進	スポーツ推進本部	202	●
東京2020大会のレガシーを継承する取組	スポーツ推進本部	202	●
国際スポーツ大会の経験をレガシーとして活用したスポーツ大会の運営支援	スポーツ推進本部	202	●
Japan Sports Journeyにおける情報発信	産業労働局	203	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>ねんりんピックの東京開催に向けた取組</b>			
<b>ねんりんピックの東京開催に向けた取組</b>			
ねんりんピックの東京開催に向けた取組	スポーツ推進本部	203	
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	203	●
<b>東京を活性化させるスポーツイベント等の展開</b>			
<b>東京マラソンをはじめとする、東京を活性化させるスポーツイベント等の展開</b>			
東京マラソンの開催支援	スポーツ推進本部	204	
ランナー応援イベントの開催	スポーツ推進本部	204	
東京レガシーハーフマラソンの開催支援	スポーツ推進本部	204	●
東京レガシースタジアムの開催	スポーツ推進本部	205	●
GRAND CYCLE TOKYOの推進	スポーツ推進本部	205	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	205	●

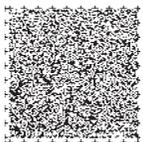


## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>多様なスポーツイベントの開催</b>			
スポーツの日記念イベントの開催	スポーツ推進本部	206	●
TOKYO ROKUTAI FESの開催	スポーツ推進本部	206	●
ウォーキングイベントの開催	スポーツ推進本部、 保健医療局、水道局	206	●
東京2020大会レガシー継承事業	スポーツ推進本部	206	●
パラスポーツメモリアルイベントの開催	スポーツ推進本部	207	●
プロスポーツチーム等との連携	スポーツ推進本部	207	●
都立スポーツ施設を活用したスポーツ イベント等の展開	スポーツ推進本部	208	●
多彩なスポーツの取組を通じた交流機会の提供	スポーツ推進本部	208	●
<b>多摩・島しょの自然等を活用したスポーツの振興</b>			
東京の自然を満喫できるウォーキングマップ 等の利用促進	保健医療局	209	
誰もが訪れる自然公園の実現	環境局	209	
「たま リバー50キロ」の利用促進	都市整備局	210	
島しょ地域の観光振興への支援	産業労働局	210	

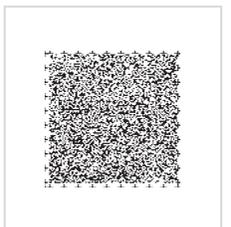
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート</b>			
<b>地域におけるスポーツ活動の推進</b>			
<b>地域スポーツの推進</b>			
地域スポーツクラブの設立・育成・運営支援	スポーツ推進本部	212	
総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用	スポーツ推進本部	212	
東京都地域スポーツクラブサポートネット による情報提供	スポーツ推進本部	212	
登録クラブの活用促進	スポーツ推進本部	213	
スポーツ推進委員の役割や活動内容の紹介	スポーツ推進本部	213	
スポーツ推進委員研修会等の開催	スポーツ推進本部	213	
地域のスポーツ振興に向けた関係者会議	スポーツ推進本部	213	
区市町村スポーツ推進補助事業	スポーツ推進本部	214	●
パラスポーツ地域サポート事業	スポーツ推進本部	214	●
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、 教育庁	215	●
障害児・者の運動習慣定着支援事業	スポーツ推進本部	215	●
障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ推進本部	216	●
T O K Y Oユニバーサルウォーキング普及事業	スポーツ推進本部	216	●
パラスポーツセミナーの開催	スポーツ推進本部	217	●
初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会	スポーツ推進本部	217	●
<b>地域や経済の活性化に寄与した団体等の顕彰</b>			
<b>地域や経済の活性化に寄与した人・団体の顕彰</b>			
スポーツ功労者の顕彰	スポーツ推進本部	218	
東京都スポーツ推進企業認定制度の運営	スポーツ推進本部	218	●



### 政策の柱4：スポーツを支える

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策③ スポーツの魅力を発信し、スポーツを通じて感動を味わう</b>			
<b>スポーツの魅力発信</b>			
<b>スポーツの魅力発信</b>			
スポーツTOKYOインフォメーションの運営	スポーツ推進本部	220	●
パラスポーツ専門ポータルサイトTOKYO パラスポーツ・ナビの運営	スポーツ推進本部	220	●
様々なスポーツ大会への支援	スポーツ推進本部	220	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	220	●
<b>スポーツをみる機会の創出</b>			
<b>観戦機会の創出</b>			
スポーツ大会への都民招待	スポーツ推進本部	221	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	221	●
都内におけるパラスポーツ国際大会の開催促進	スポーツ推進本部	221	●
TOKYOパラスポーツチャンネルの配信	スポーツ推進本部	221	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営</b>			
<b>都立スポーツ施設の整備・運営</b>			
<b>都立スポーツ施設の管理運営</b>			
都立スポーツ施設の管理運営	スポーツ推進本部	224	●
東京辰巳アイスアリーナの開業・運営	スポーツ推進本部	224	●
都立スポーツ施設を活用したスポーツ イベント等の展開	スポーツ推進本部	224	●
都立スポーツ施設の戦略的活用	スポーツ推進本部	225	●
広域避難先、一時滞在施設等としての役割	総務局、 スポーツ推進本部	225	
<b>都立スポーツ施設の整備</b>			
都立スポーツ施設の大規模改修	スポーツ推進本部	226	●
誰もが利用しやすい施設環境の整備推進	スポーツ推進本部	226	●
多言語対応の推進	スポーツ推進本部	226	

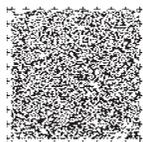


## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

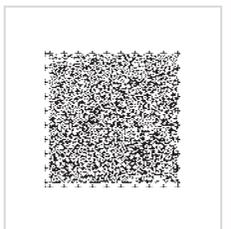
取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>都内のスポーツ環境の整備</b>			
<b>スポーツを身近でできる場の確保</b>			
区市町村等のスポーツ施設の整備支援	スポーツ推進本部	227	●
スポーツ案内サイト「S P O P I T A」の運営	スポーツ推進本部	227	●
継続的なスポーツ機会の創出・提供	スポーツ推進本部	227	●
都内公立学校体育施設の開放	教育庁	227	
都立公園のスポーツ施設における利用時間及び利用日の拡大	建設局	228	
都立公園陸上競技場の改修	建設局	228	
ウォーキング環境の整備	建設局、港湾局	228	
スポーツ拠点の整備と活用	都市整備局	228	
<b>パラスポーツを身近でできる場の確保</b>			
障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ推進本部	229	●
都立特別支援学校活用促進事業	スポーツ推進本部、 教育庁	229	●
障害者スポーツセンター、パラスポーツトレーニングセンターの運営	スポーツ推進本部	229	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>環境に配慮した施設・大会運営</b>			
<b>環境に配慮した施設・大会運営</b>			
都立スポーツ施設における環境配慮の取組	スポーツ推進本部、 環境局	230	
大会時における環境先進技術の活用・発信	環境局	230	
大会時における環境への配慮	スポーツ推進本部	230	



取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く</b>			
<b>スポーツを支える人材の確保・育成・活動支援</b>			
<b>ボランティア活動の支援</b>			
スポーツイベントにおける活動機会の提供	スポーツ推進本部	233	●
パラスポーツ人材の活動活性化事業	スポーツ推進本部	233	●
ボランティア文化定着に向けた取組	生活文化局	234	●
東京都立大学におけるボランティア活動の支援	総務局	234	●
<b>地域スポーツやパラスポーツを支える人材育成・顕彰</b>			
スポーツ推進委員研修会等の開催	スポーツ推進本部	235	
生涯スポーツ担当者研修会の開催	スポーツ推進本部	235	
東京みんなのスポーツ塾	スポーツ推進本部	235	
パラスポーツセミナーの開催	スポーツ推進本部	235	●
初級・中級パラスポーツ指導員養成講習会	スポーツ推進本部	236	●
パラスポーツ人材の活動活性化事業	スポーツ推進本部	236	●
スポーツ功労者の顕彰	スポーツ推進本部	236	
<b>多様なスポーツを支える基盤づくり</b>			
<b>多様なスポーツを支える基盤づくり</b>			
競技団体等組織基盤強化支援事業	スポーツ推進本部	237	●
パラスポーツ競技活動支援事業	スポーツ推進本部	237	●
パラスポーツ団体体制強化支援事業	スポーツ推進本部	237	●
パラスポーツ団体普及活動支援事業	スポーツ推進本部	238	●
デフスポーツ競技団体都内活動促進事業	スポーツ推進本部	238	●
デフリンピックチャレンジ事業	スポーツ推進本部	238	●

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>地域におけるスポーツ活動の推進</b>			
<b>地域スポーツクラブの支援</b>			
地域スポーツクラブの設立・育成・運営支援	スポーツ推進本部	239	
総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用	スポーツ推進本部	239	
東京都地域スポーツクラブサポートネットによる情報提供	スポーツ推進本部	239	
登録クラブの活用促進	スポーツ推進本部	240	
スポーツ推進委員研修会等の開催	スポーツ推進本部	240	
スポーツ推進委員の役割や活動内容の紹介	スポーツ推進本部	240	
<b>部活動の地域連携・地域移行推進のための取組</b>			
地域スポーツクラブ活動体制整備事業・文化 部活動の地域移行等に向けた実証事業	教育庁	241	
部活動の地域連携・地域移行等に関する支援	教育庁	241	
部活動指導員の導入	教育庁	241	
運動部活動指導者養成講習会の実施	教育庁	241	
地域のスポーツ振興に向けた関係者会議	スポーツ推進本部	242	
指導者資格等取得支援	スポーツ推進本部	242	

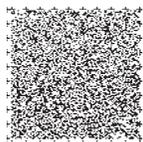


## 6 取組一覧

### 4つの政策の柱

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>民間企業とともに取り組むスポーツ活動</b>			
<b>民間企業等とともに取り組むスポーツ振興</b>			
東京都スポーツ推進企業認定制度の運営	スポーツ推進本部	243	●
プロスポーツチーム等との連携	スポーツ推進本部	243	●
スポーツTOKYOインフォメーションの運営	スポーツ推進本部	243	●
パラスポーツ普及啓発プロジェクト 「TEAM BEYOND」	スポーツ推進本部	244	●
パラスポーツコンシェルジュ事業	スポーツ推進本部	244	●
マッチングプラットフォーム構築	スポーツ推進本部	244	●
TOKYO戦略的イノベーション促進事業	産業労働局	245	
シニア・福祉・アクセシビリティ関連製品等 の販路開拓助成事業	産業労働局	245	

取組内容	所管部署	ページ	レガシー ビジョン
<b>施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現</b>			
<b>スポーツによる事故防止等の推進、暑さ対策</b>			
<b>けがや事故、熱中等等の予防推進</b>			
熱中症予防の推進	スポーツ推進本部、 教育庁	247	
地域におけるスポーツの事故防止	スポーツ推進本部	247	
部活動指導者実技講習会の実施	教育庁	247	
スポーツにおける暑さ対策支援	スポーツ推進本部	248	
都立スポーツ施設における暑さ対策の推進	スポーツ推進本部	248	
クーリングシェルター（指定暑熱避難施設） 等としての役割	スポーツ推進本部、 環境局	248	
大会時の路上競技沿道における観客の 暑さ対策の実施	環境局	248	
<b>スポーツ・インテグリティの強化、大会のガバナンス確保</b>			
<b>スポーツ・インテグリティ強化のための取組</b>			
部活動における体罰の根絶	教育庁	249	
スポーツ・インテグリティ研修	スポーツ推進本部	249	●
スポーツ団体の適正な運営確保	スポーツ推進本部	249	
<b>ガバナンス確保のための取組</b>			
国際スポーツ大会におけるガバナンス確保の取組	スポーツ推進本部	250	●



## 東京都スポーツ推進総合計画

令和7年3月発行

印刷物規格表第1類

登録番号(6)68

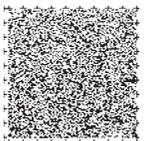
編集・発行 東京都生活文化スポーツ局  
スポーツ総合推進部企画調整課  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5388)2219  
<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/>

印刷 株式会社ドゥ・アーバン  
東京都世田谷区八幡山三丁目17番1号  
電話 03(6379)6124

リサイクル適性<sup>㊤</sup>

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

※東京マラソンに関する名称や写真を使用する際は、事前に（一財）東京マラソン財団へのプロパティ申請（権利許諾手続）が必要です。  
以下のプロパティ使用申請フォームより、お手続きをお願いいたします。  
<https://www.marathon.tokyo/media/media-section/>





東京都